扶桑探勝圖

亥
194

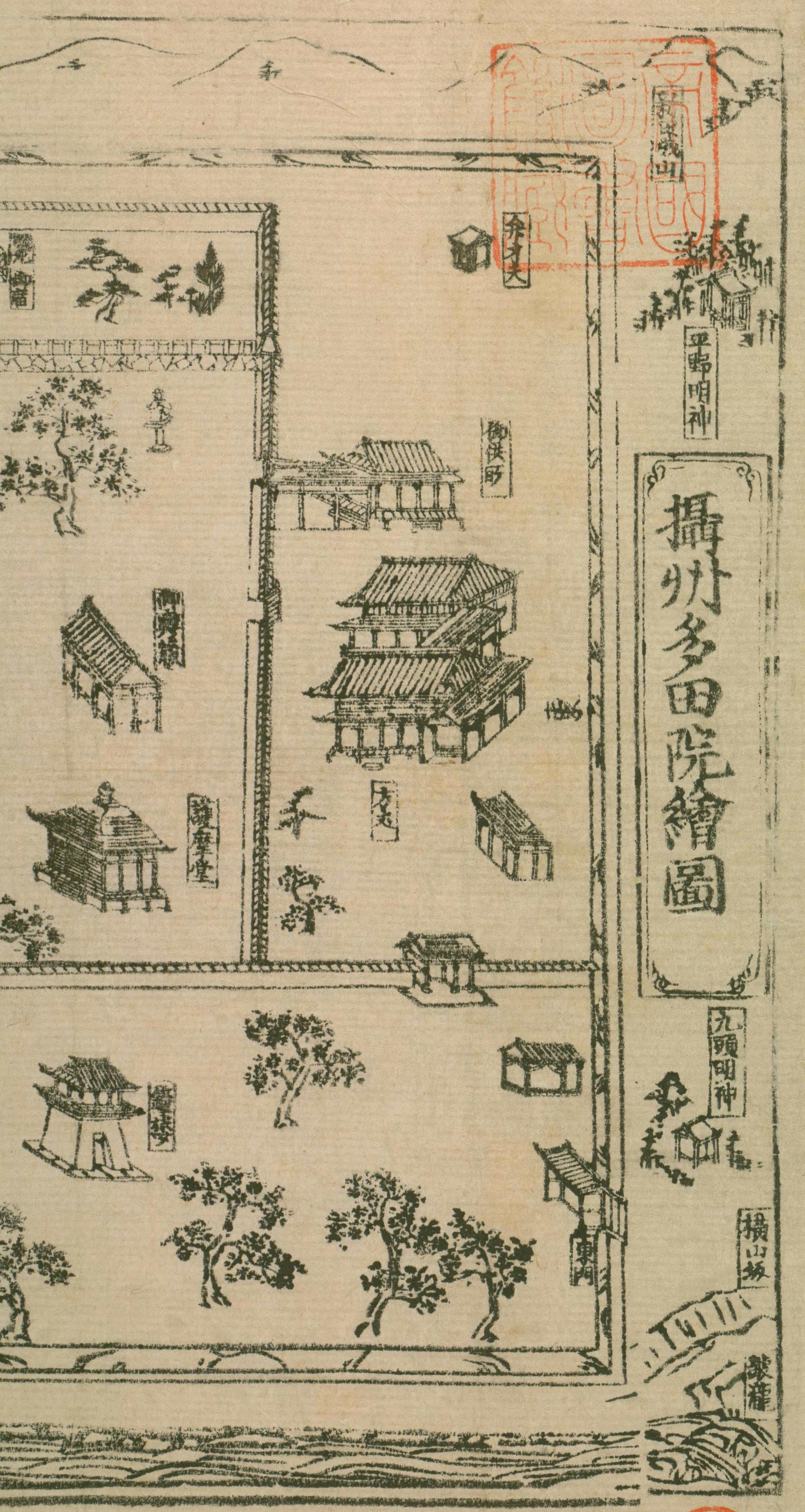
扶桑探勝圖　五

亥
194

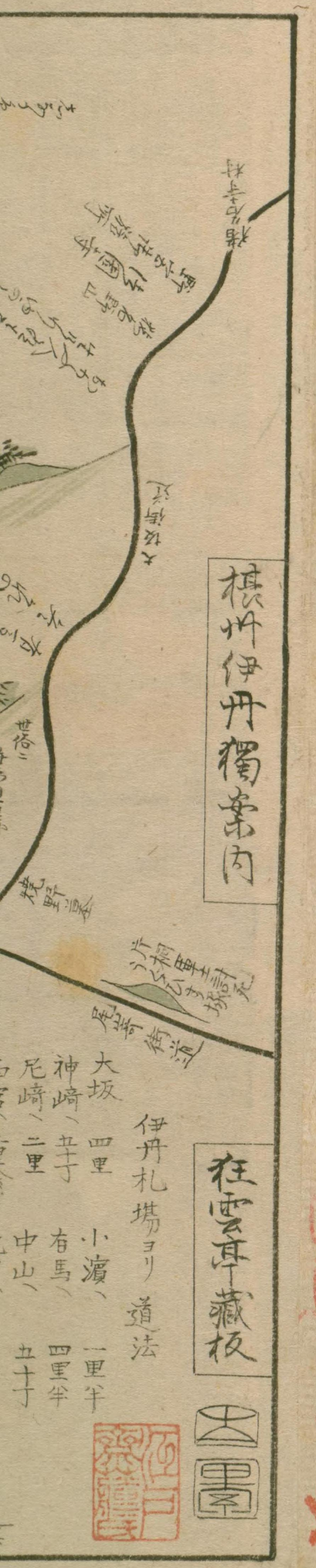
亥
194

い

三
一


弁才天
平野明神
御供所
護摩堂
鐘楼
九頭明神
東門
横山坂

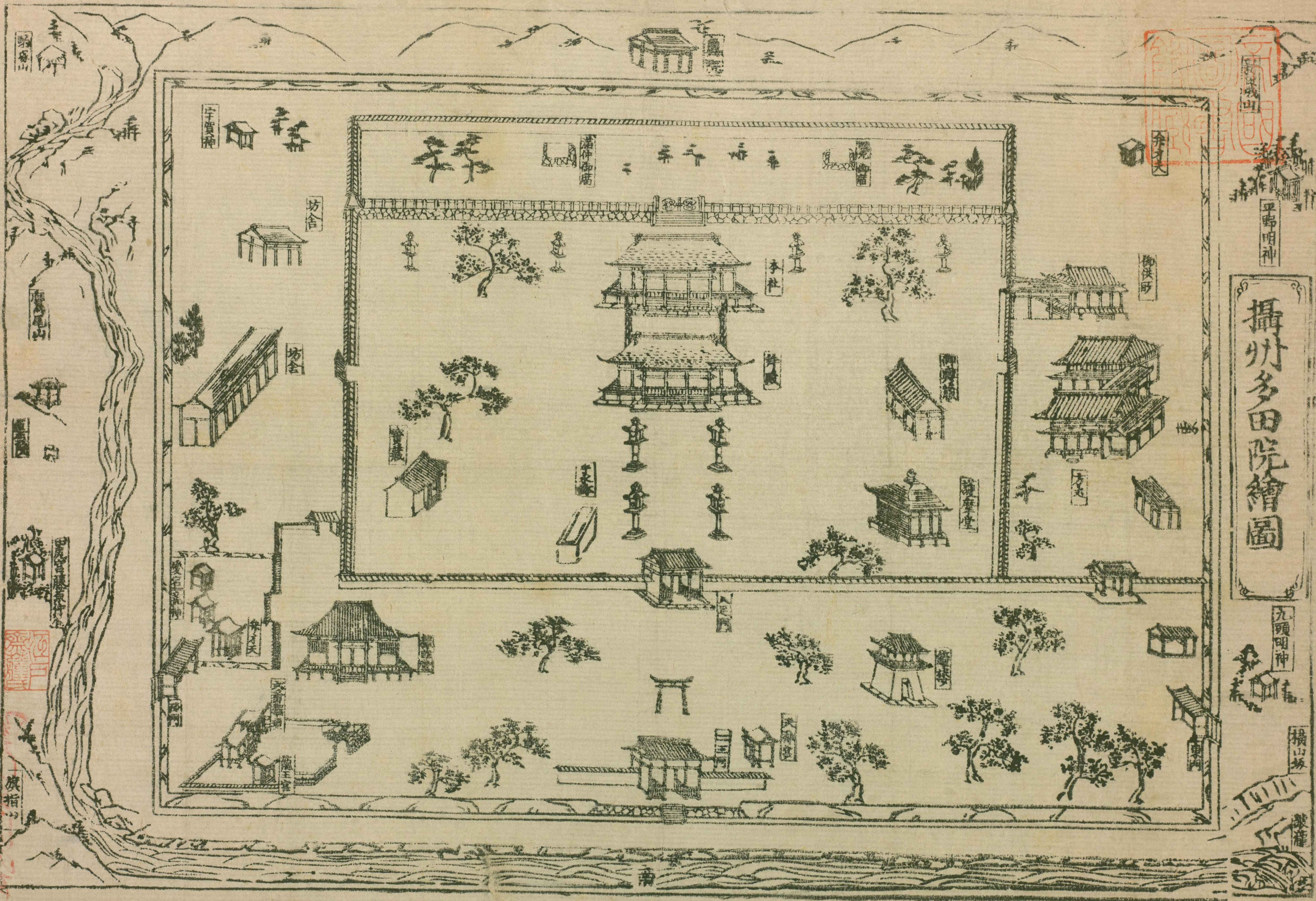
攝州多田院繪圖



攝州伊丹獨案内

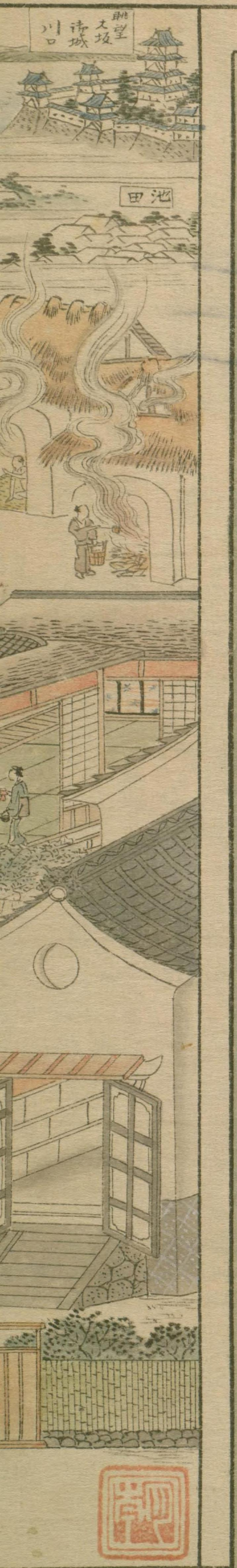
伊丹札場ヨリ道法
大坂 四里　小濵 一里半
神崎 五十丁　有馬 四里半
尼崎 二里　中山 五十丁

狂雲亭蔵板



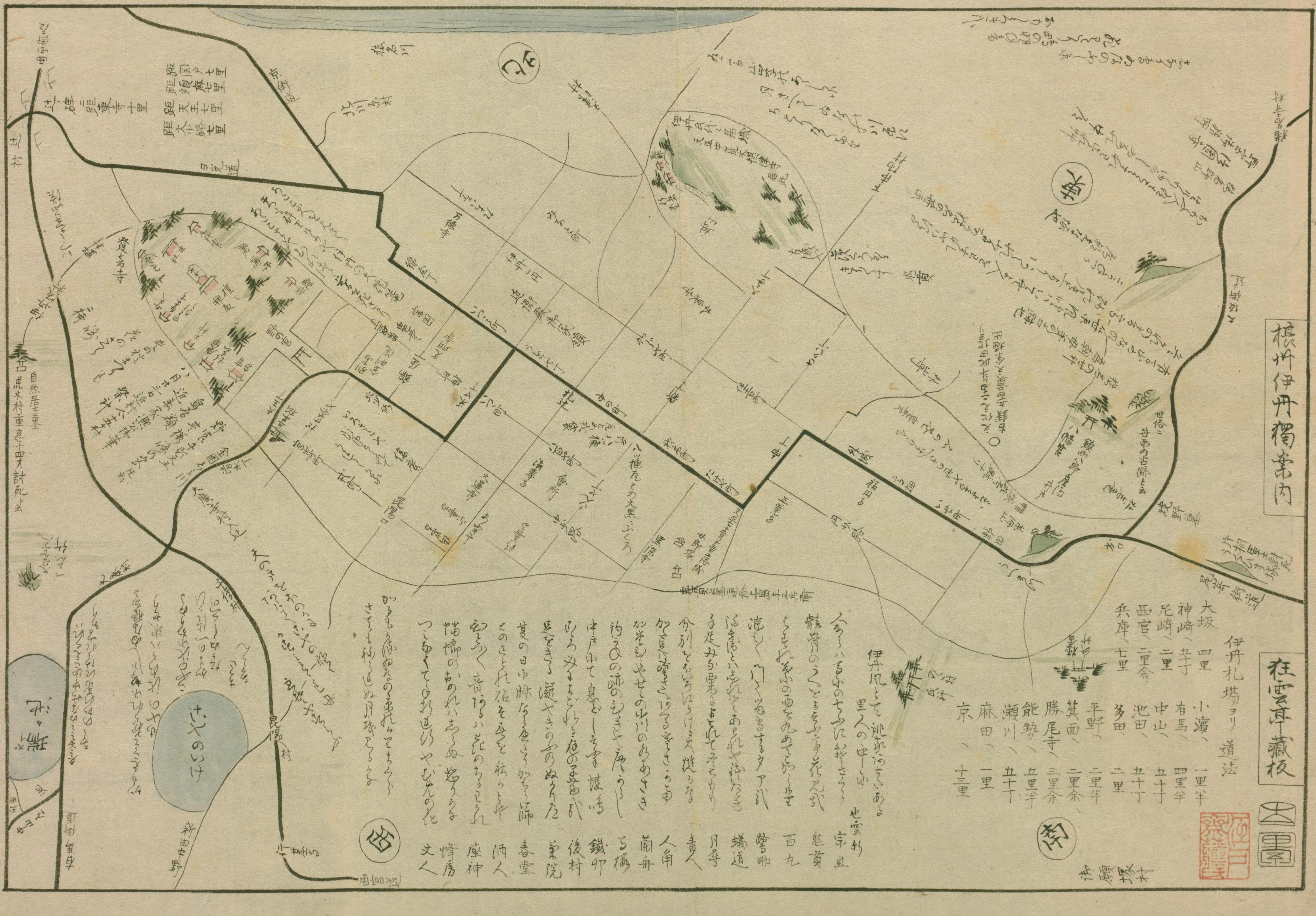
攝州多田院繪圖

宇賀神
坊舎
坊舎
寶蔵
拝殿
本社
御供所
護摩堂
弁才天
弁才天
鷹尾山
一旗指山
龍王宮
西門
鐘楼
東門
平野明神
九頭明神
横山坂
南



庭前袷山四季會品之圖

津ノ國中山寺門前舟ヨリ二軒目
若戎三良兵衛


北
東
西
南
猪名川
京街道
昆陽口
昆陽村
こやのいけ
自然居士墓
荒木村重息子四郎討死ス
尼崎街道

摂州伊丹獨案内

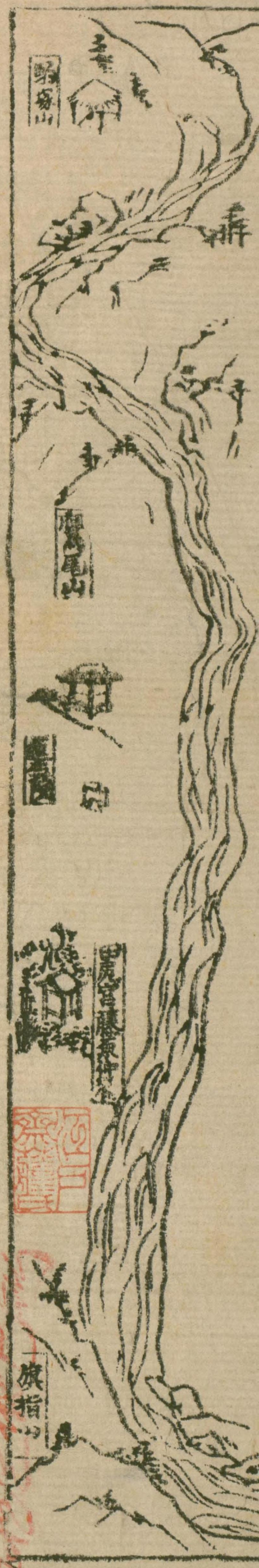
狂雲亭藏板

伊丹札場ヨリ道法

大坂へ	四里
神崎へ	廿丁
尼崎へ	二里
西宮へ	二里余
兵庫へ	七里
小濵へ	一里半
有馬へ	四里半
中山へ	五十丁
池田へ	五十丁
多田へ	二里
平野へ	二里半
箕面へ	二里余
勝尾寺へ	三里余
能勢へ	五里半
瀬川へ	五十丁
麻田へ	一里
京へ	十三里

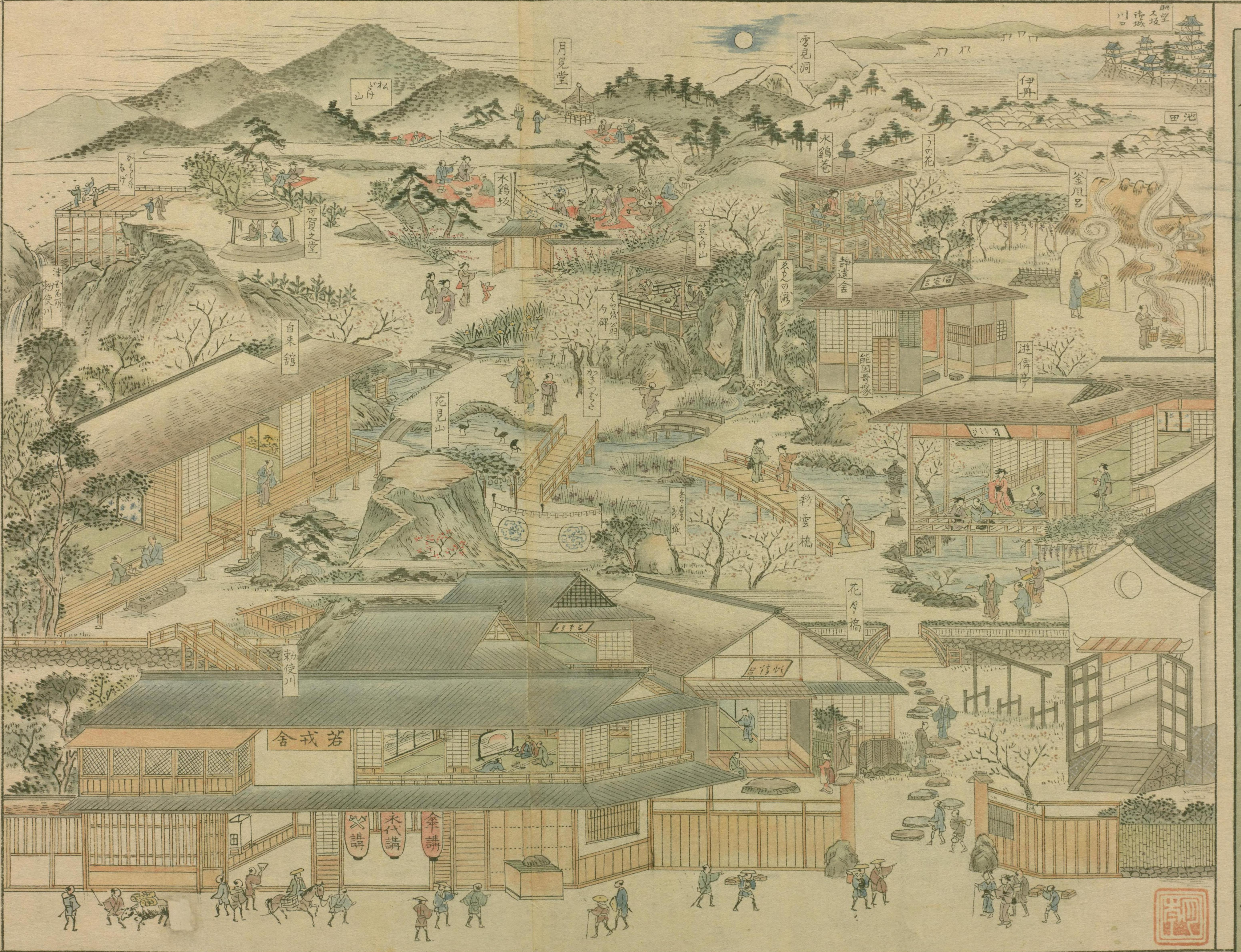
伊丹風とて誂ぬ[illegible]ある
里人の中に　也雲

人ごゝろハあの七分に散さくら　宗旦
骸骨のうへをよそふて花見かな　鬼貫
ちる花の[illegible]雨をためて[illegible]　百丸
涼しくも門を出あるく夕月夜　鷺助
[illegible]　蟻道
手足みな栗にまぎれて冬ごもり　月尋
分別をむしろにうけし[illegible]　青人
[illegible]　人角
[illegible]山川の[illegible]　蘭舟
[illegible]　百桜
中戸にて[illegible]時鳥　鐵卯
[illegible]　後村
[illegible]　菊院
夏の日や[illegible]　春堂
[illegible]　洒人
[illegible]花の[illegible]　座神
蟷螂のおのれハ[illegible]　蜂房
[illegible]　文人
[illegible]



庭前袷山四季會品之圖（ていぜんあいせやましきくわいひんのづ）

津國中山寺門前角ヨリ二軒目
若戎三良兵衛


月見堂
雪見洞
松山
伊丹
池田
水鶏巷
うの花
釜風呂
可賀之堂
水鶏坂
静遠舎
花見山
花夕橋
勅使川
若戎舎
永代講
傘講

能因法師　こゝろある人にみせばや津の國の難波わたりの春のけしきを

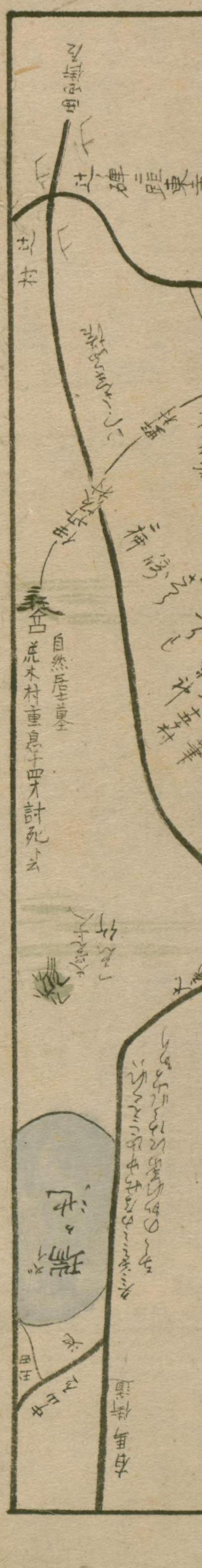
加茂季鷹　海山のよる月まつの花をりてみぬ人目のまれなるらん

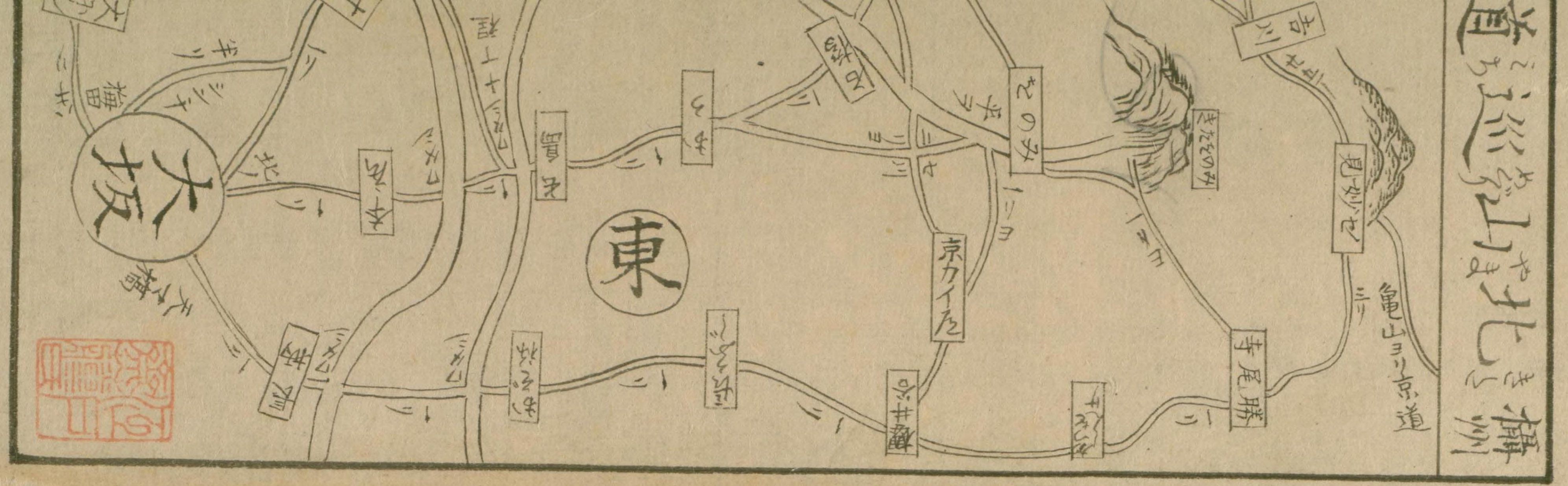
蜀山人　いま一度花我やなにわとて足たゝぬまで酔んとぞおもふ

画工　浪花　探月齋

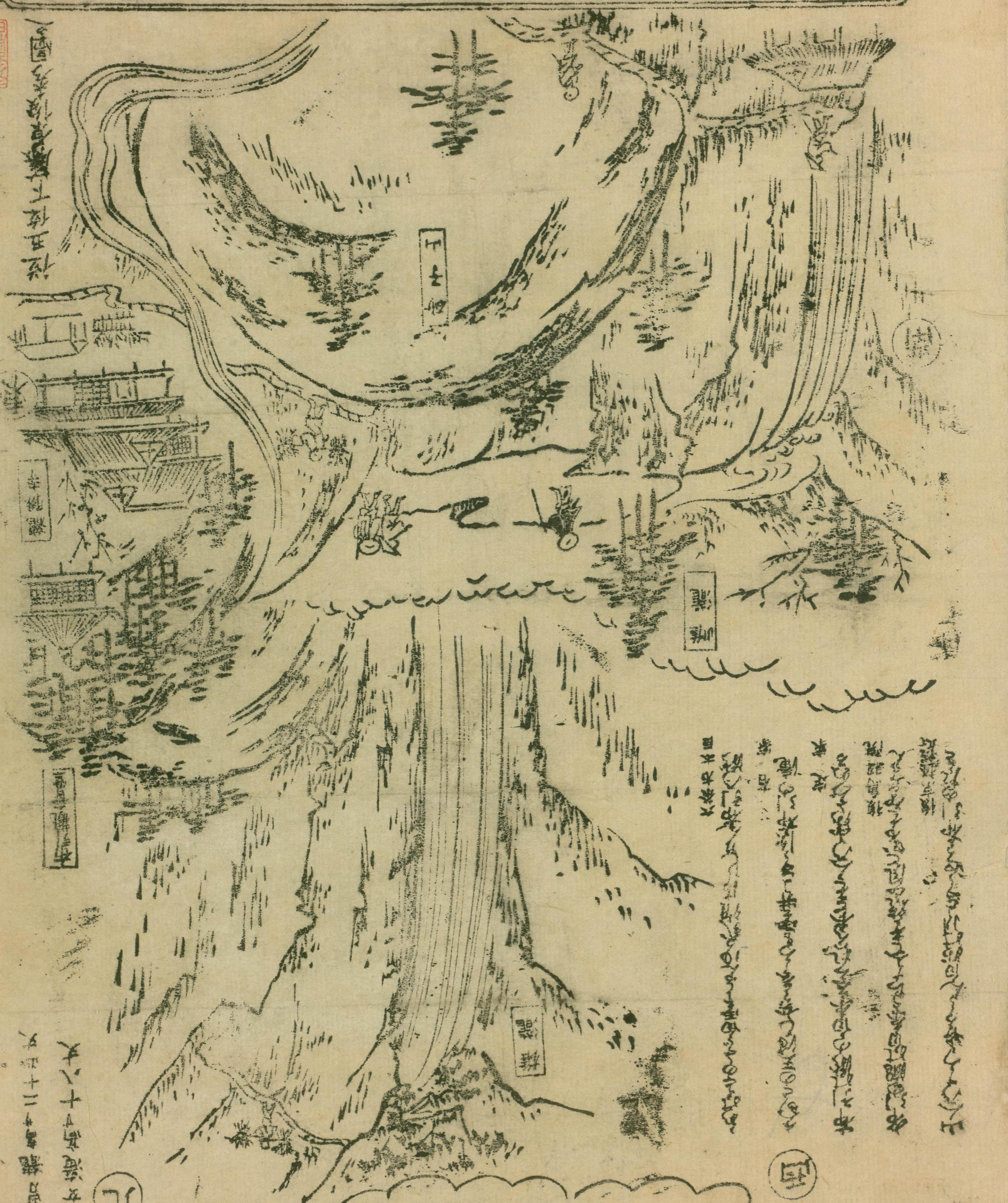
彫刀　仝　松井梓

原本墨摺長谷川雪堤子藏　天保甲辰十二月九日摸之


自然居士墓
荒木村重息十四才討死之


攝州 北山巡道
大坂
東
吉川
勝尾寺
亀山ヨリ京道

攝州布引瀧圖　布引山瀧勝寺校


布引山
雄瀧
雌瀧
瀧勝寺
東
北
西

從五位下藤原俊秀圖之

男瀧高サ二十五丈
女瀧高サ十八丈

（後京極摂政）[illegible]

（後鳥羽院）[illegible]

（定家）[illegible]

（家隆）[illegible]

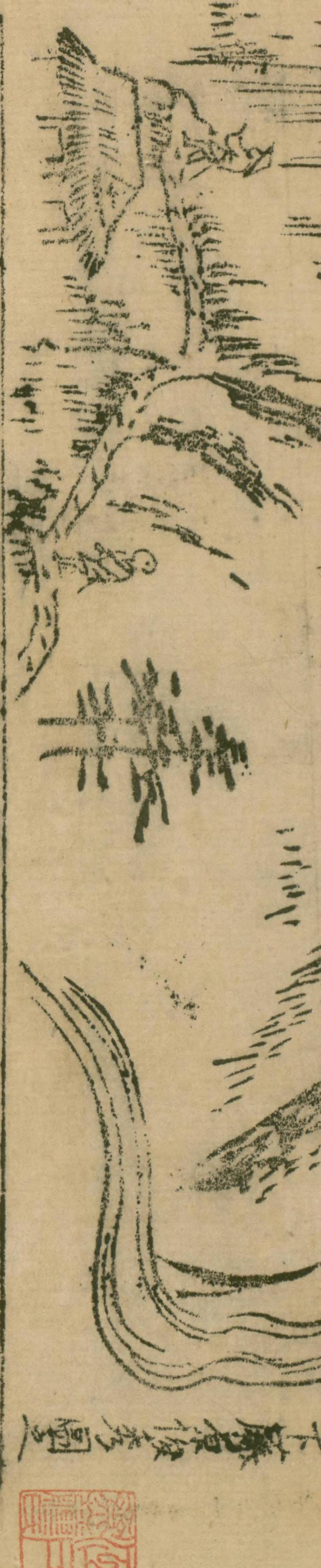
（大納言経信）[illegible]

能因法師　心あらん人にみせばや津の國の難波わたりの春のけしきを
加茂季鷹　海山の見る目も月も花紅葉見ぬ人目のまれなるらん
蜀山人　いま一度花や紅葉をみなくして足たゝぬまで酔んとぞおもふ

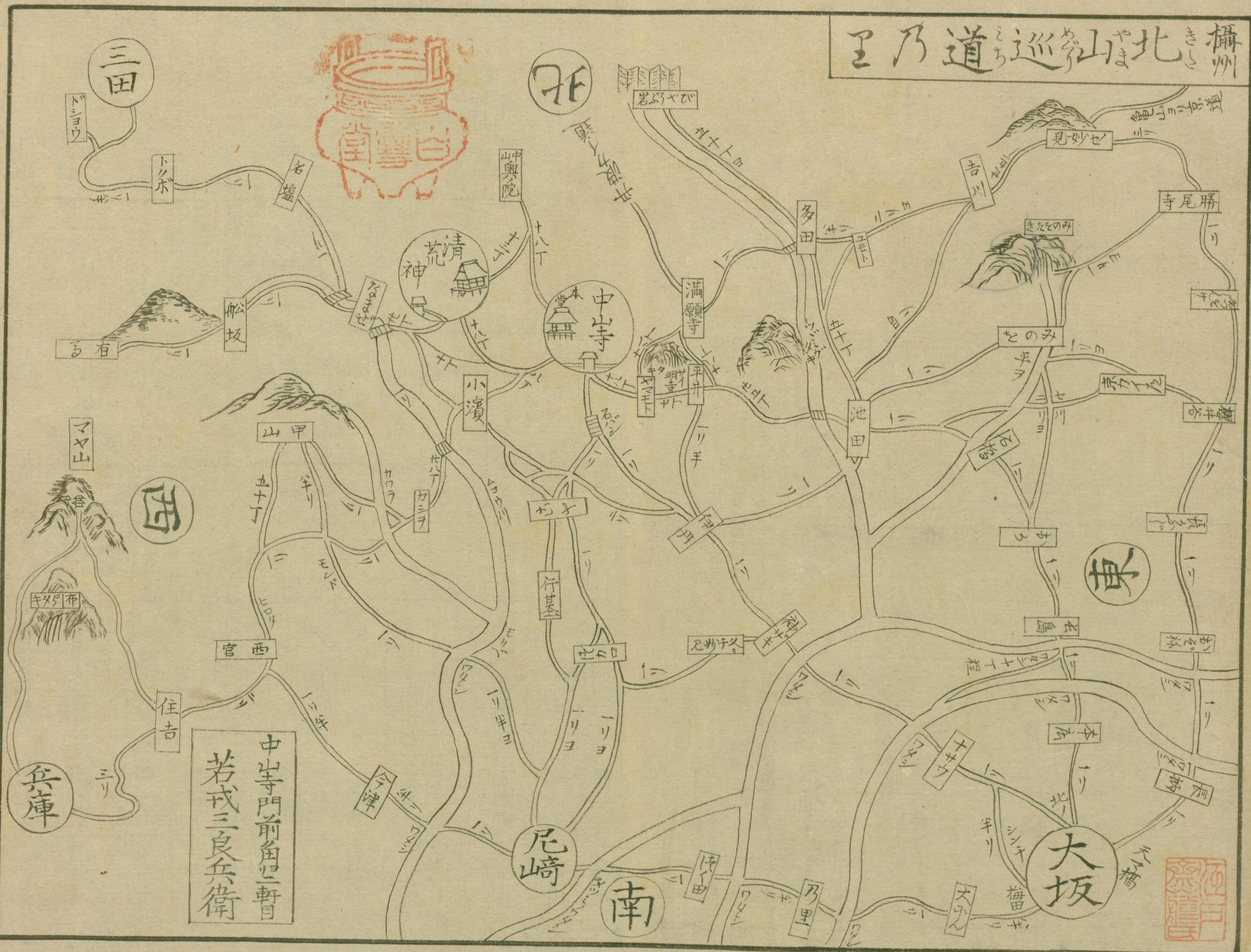
画工　浪花　探月齋
彫刀　仝　松井梓

原本墨搨長谷川雪堤子藏　天保甲辰七月九日摸之

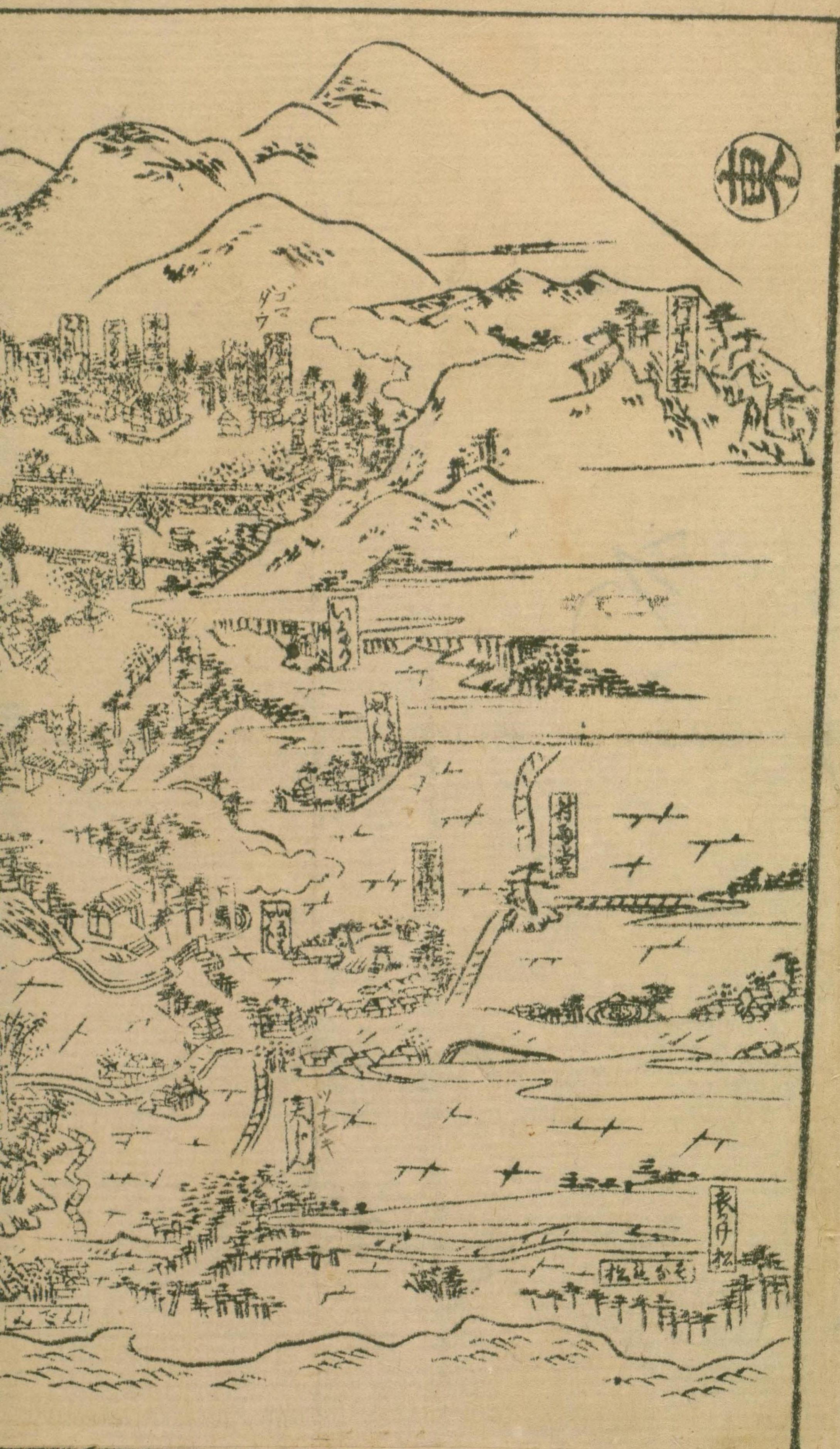
摂州布引瀧圖　布引山瀧勝寺秋



摂州北山巡道乃図


北
東
西
南
三田
清荒神
中山寺
池田
多田
大坂
尼崎
兵庫
住吉
西宮
甲山
マヤ山
有馬
船坂
小濱
伊丹
吉川
妙見
勝尾寺

中山寺門前角ゟ二軒目
若戎三良兵衛



摂州須磨寺霊宝附

一本尊聖観音　海中より涌現

一青葉の笛　弘法大師御作

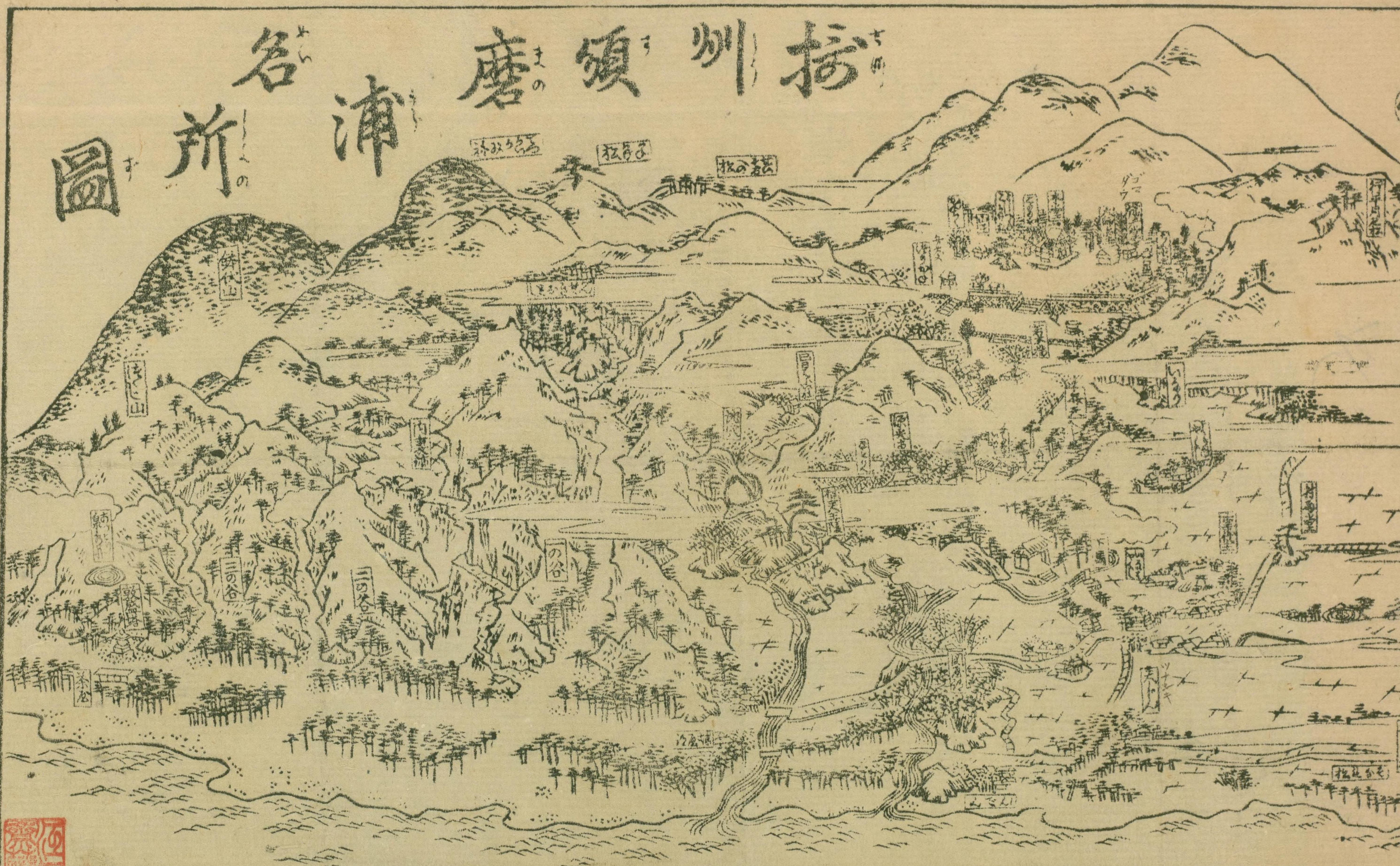
ふゑねども音にきこえて笛竹の
よゝのむかしをおもひしるやと

一高麗笛　学祐僧正作

一敦盛絵　熊谷筆并甲冑

一敦盛幼少手跡

攝州須磨浦名所圖



攝州須磨寺靈寶附

本尊聖観音　海中より涌現

一青葉笛　弘法大師御作

ふうねども音にきこえて笛竹のよそれひうしをかりひしやと

一高麗笛　学祐僧正作

一敦盛繪　熊谷筆并甲冑

一敦盛幼少手跡

庭雪　音壽丸

よしやふくとへきても又たぐさゐん
かのきわとうぢよはのゆき

寄松祝言

みどりなる松よ千とせのいろそそく
ひさしうきとやのきみ山の影

一敦盛赤旗名号　法然上人筆

爲敦盛空顔憐清菩提書之　源空

脇　和歌

音壽丸ヨ二コリスマテタヘイリテ
ミタノ蓮ニトモニ生ル、

一保呂衣名号　蓮生法力筆

脇

法ノ水スミト硯デカキヲクモ
心行具足阿弥陀佛力

一若木櫻制札　辨慶筆

須磨寺櫻

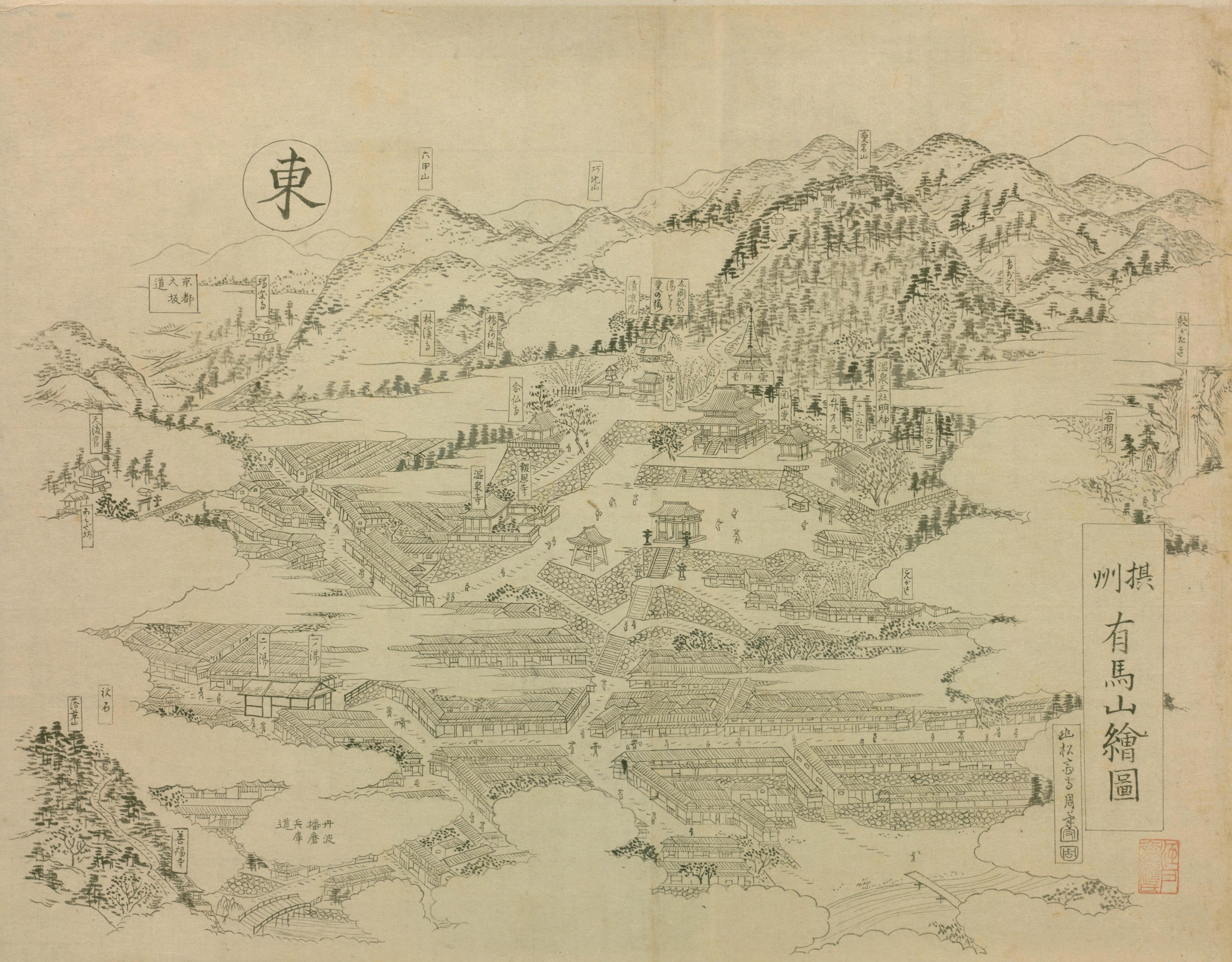
此華江南所無也一枝於折盗之輩者任天永紅葉之例伐一枝者可剪一指

壽永三年二月日

右之外什物あまたありといへども爰に
出しおかず七月七日虫干に出ス

上野山　福祥寺

癸巳秋日


東
六甲山
巧北山
京都
大坂
道
瑠宝寺
林溪寺
稲荷社
清涼院
太閤秋の
湯もと
愛の桜
念仏寺
極らくじ
愛宕山
薬師堂
開山堂
弁才天
十二社宮
温泉三社明神
三社宮
香ちごく
鼓がたき
有明桜
天満宮
あこぐ坊
温泉寺
報恩寺
えがよし
二ノ湯
一ノ湯
杖石
落葉山
善福寺
丹波
播磨
兵庫
道

摂州
有馬山繪圖

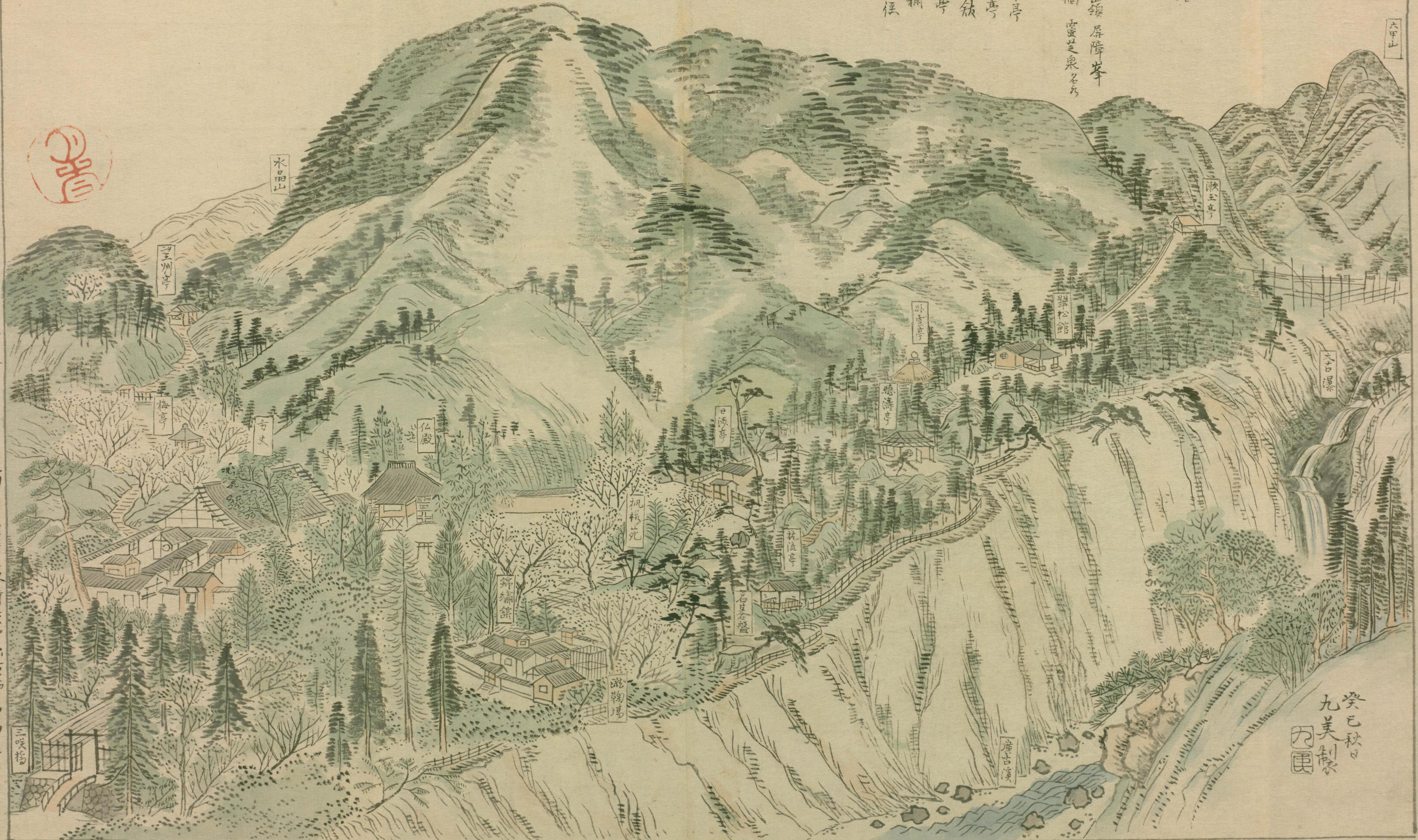
此松高多周華畫

上野山　福祥寺

馬山瑞寶寺
勝景縮圖

楓櫻苑（もみぢさくら五百株ばかり）
青杏林（凡弐百株ばかり）
太古瀑（高サ二三級）
綠雲径　萬月嶺　屏障峯
廣古溪　三咲橋　靈芝泉（名のみ）
錦繡館（名のみなり）
蹴鞠塲　聽濤亭
卧雲亭　枕流亭
日渉亭　翠松館
梅亭　望州亭
石碁盤　藤花棚
萩花塢　躑躅径
鹿　子規
河鹿　松茸
蕨　等

浴温泉風馬山実
入瑞寶古禅関初
地恍如而経歴乃
悟平生夢柱還松
形洒落石容頑不
許纖塵點其間幽
處置亭殊清絶緑
陰通径幾回環曾
窺住師詩一班想
像不違微笑顔莱
然不問吾名姓相
引勝境極躋攀亭
懸瀑三級叢如刪
下赴清溪碧瀲灔
傍崖石轉眼界豁
指示丹楮山如髮
間師住此十餘年
手排荒穢誅榛
菅栽花題曰錦繡
谷欲使遊者入僻
寰嗚呼清福獨享
固媿慳多方度人
或踰閑此関不易
吾亦難者山如黙
鳥殺耳間
小竹散人


六甲山
漱玉亭
翠松館
卧雲亭
太古瀑
聽濤亭
日渉亭
水晶山
望州亭
梅亭
方丈
仏殿
楓櫻苑
枕流亭
錦繡館
石碁盤
蹴鞠塲
三咲橋
廣古溪

癸巳秋日
九美製

原本刻板ニて帖ニ摂州有馬瑞寶寺勝景錦繡谷日晴庭圖天保四巳冬鐫　賛浪華篠崎畏堂　画京師原田九美と阿り

摂州有馬

版木師　京あふらのこうぢ下ル　菊屋嘉兵衛

摂州有馬
鼓ヶ瀧之図

有馬六景之内

有明櫻春望

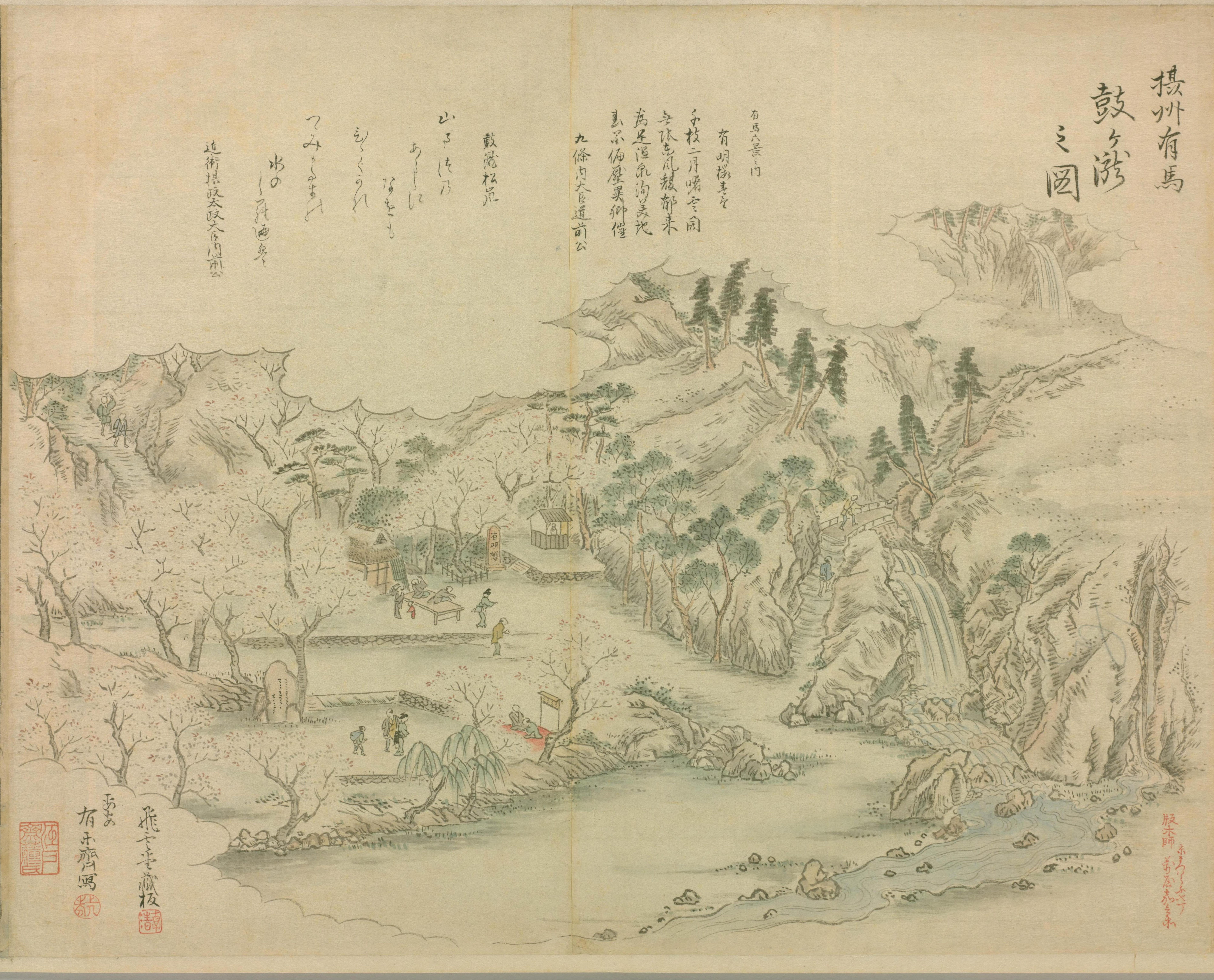
千枝二月曙雲開
無限東風馥郁来
爲是温泉淘美地
豈不偏歴異卿僊

九條内大臣道前公

鼓瀧松嵐

山おろし乃
あらしに
なをも
ひゞくなれ
つゞみかたきの
水のしらべにて

近衛摂政太政大臣内前公

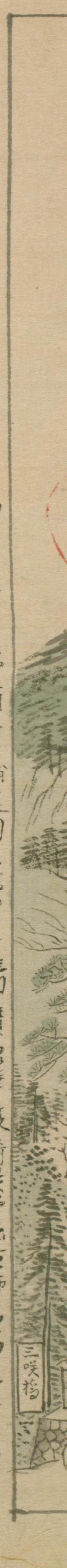


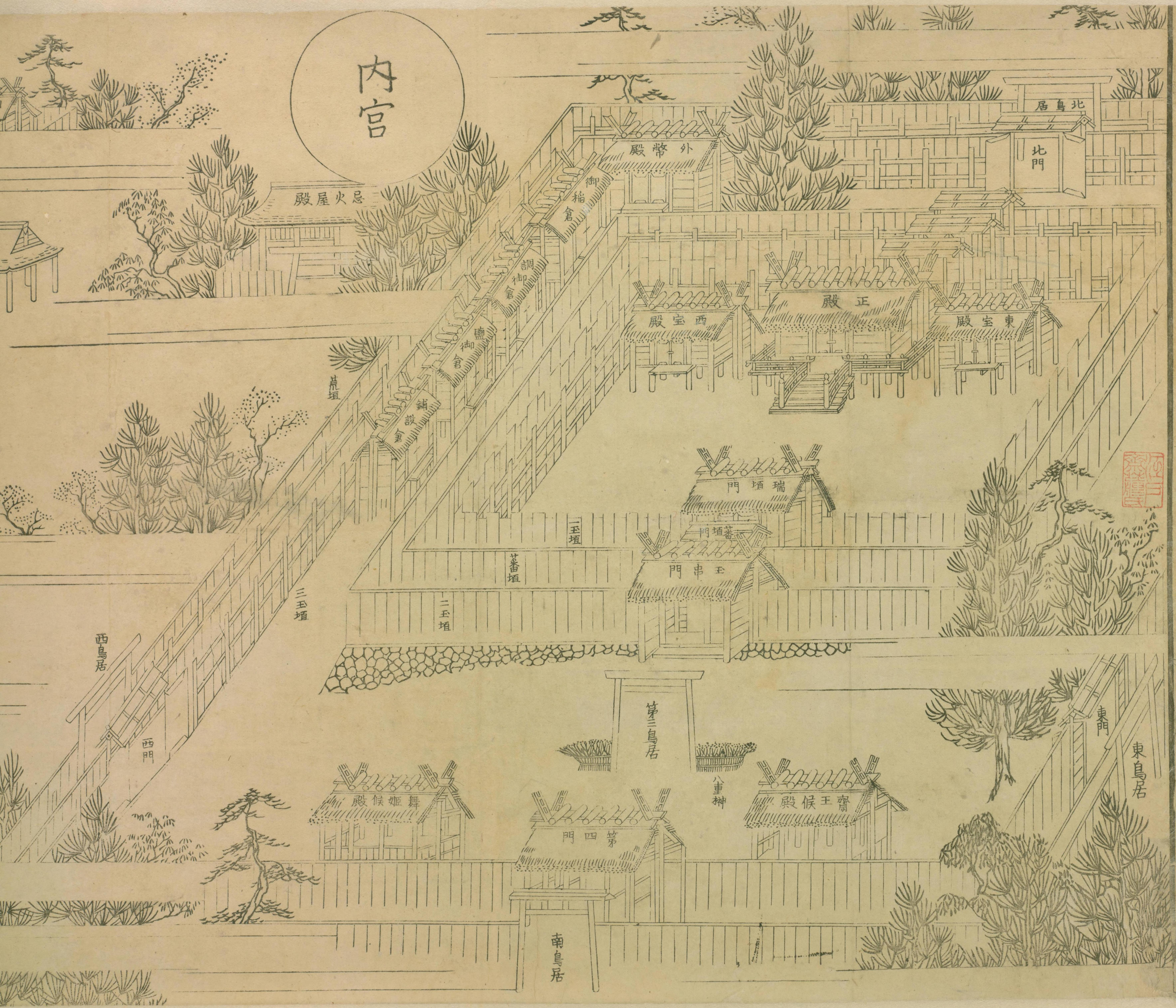
飛千亭藏板

あま
有平齋寫

版木師 京まつはらふや丁 菊屋喜兵衛

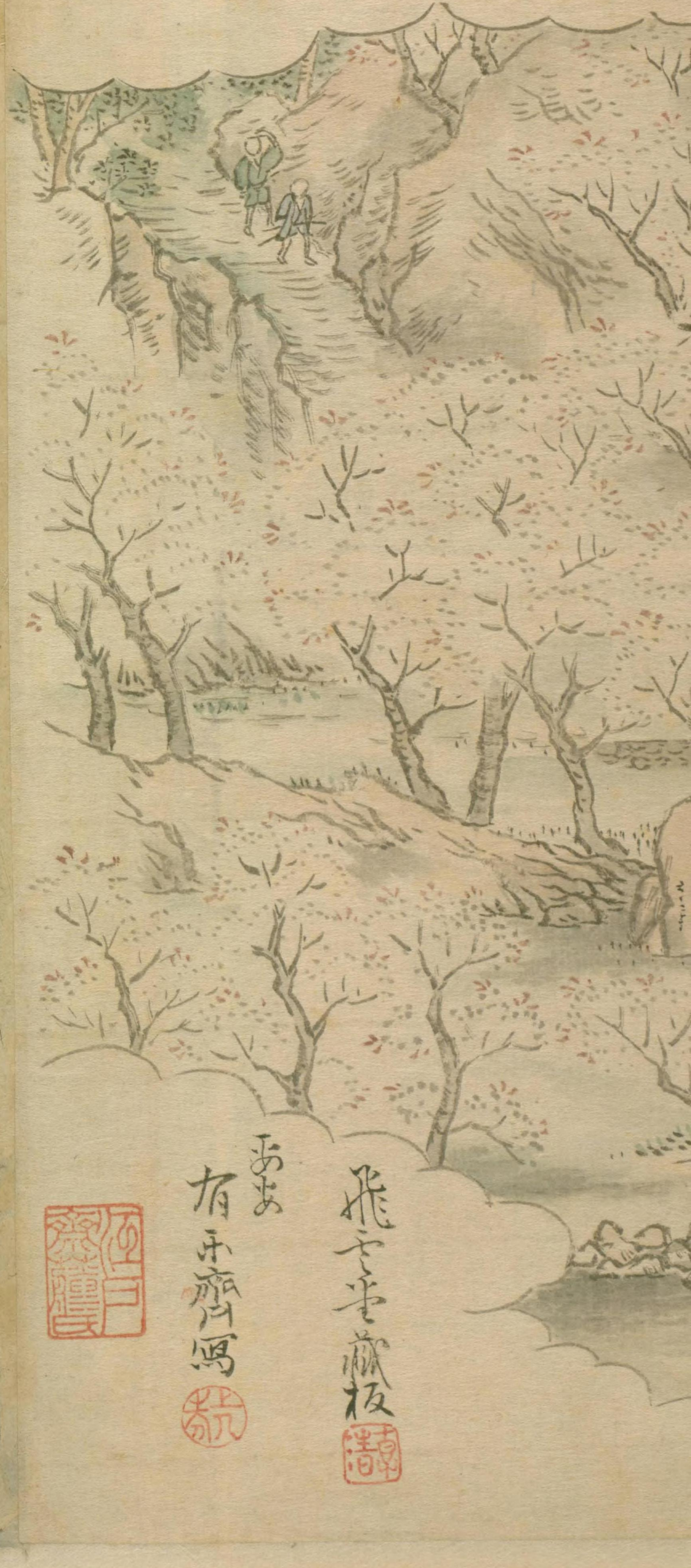
原本刻板而して帙子摂州有馬瑞寶寺勝景錦繍谷日晡庭圖天保四巳冬鐫 賛浪華篠崎畏堂書京師原田九美と阿呈




内宮
北鳥居
北門
外幣殿
忌火屋殿
御稲倉
調御倉
鹽御倉
鋪設倉
荒垣
正殿
西宝殿
東宝殿
瑞垣門
蕃垣門
玉串門
一玉垣
蕃垣
二玉垣
三玉垣
西鳥居
西門
第三鳥居
八重榊
東門
東鳥居
舞姫候殿
齋王候殿
第四門
南鳥居

水の
し飛通ゑ

近衛攝政太政大臣内前公

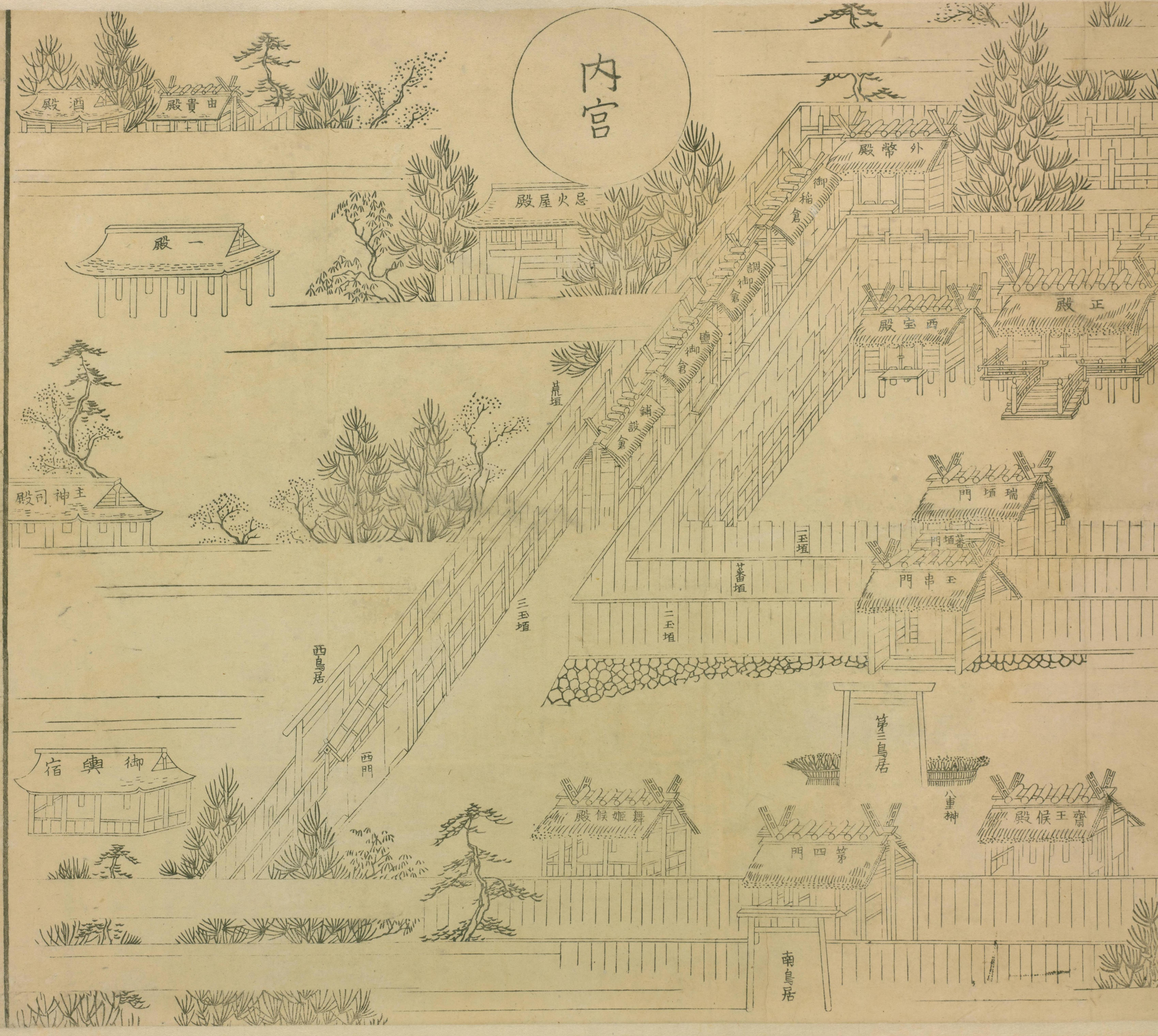


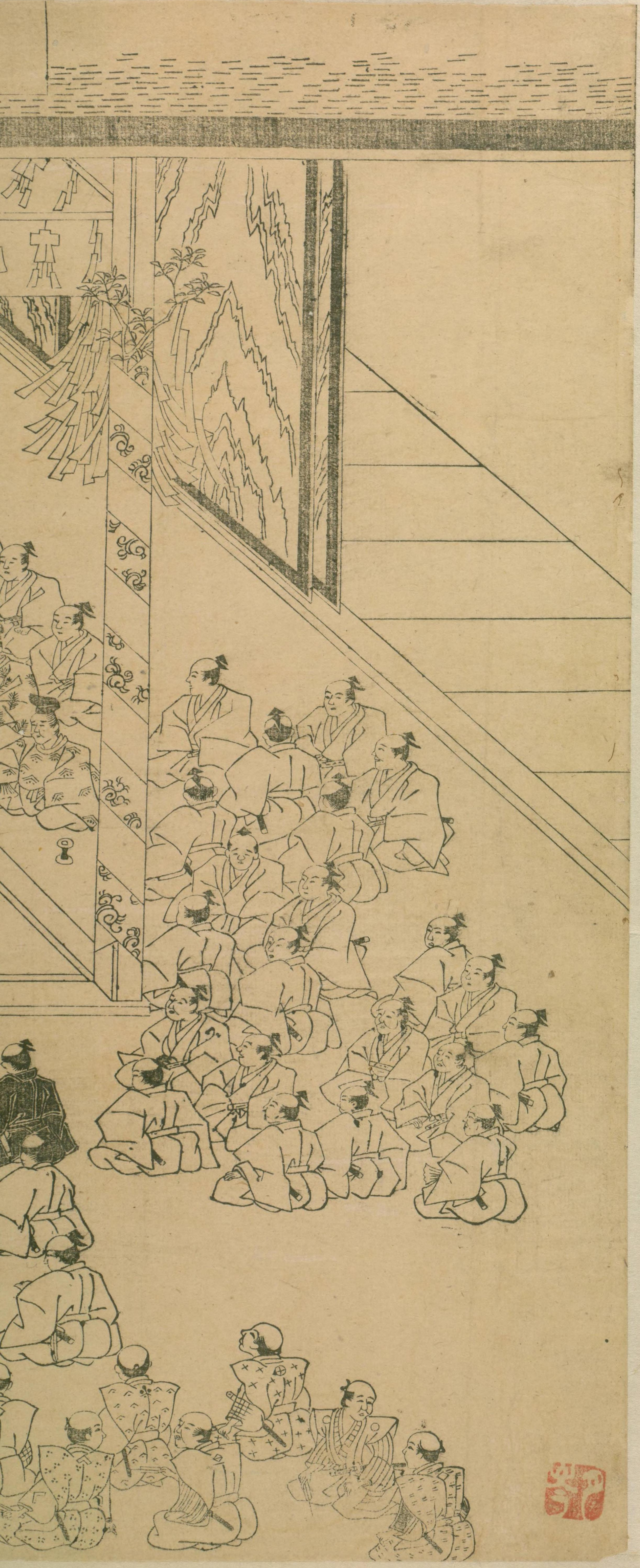
飛雲亭蔵板

西安
有而齋寫

御本宮御圖

天照皇大神の大宮造り始りけるは
むかしは人皇十一代
垂仁（すいにん）天皇の大御代に倭（やまと）姫（ひめ）の命（みこと）大宮
所を伊勢乃国宇治の五十鈴の川上に
撰定給ひしより始りぬ内宮是なりけり
天武天皇の大御代に二十ヶ年を造（さう）替（たい）
宮の式年と定め給ひしより御事人々多く
知れる所なりされど来る丑の秋九


内宮
酒殿
由貴殿
忌火屋殿
一殿
外幣殿
御稲倉
調御倉
鹽御倉
鋪設倉
荒垣
西宝殿
正殿
主神司殿
瑞垣門
蕃垣門
玉串門
一玉垣
蕃垣
二玉垣
三玉垣
西鳥居
西門
御輿宿
第三鳥居
八重榊
舞姫候殿
第四門
齋王候殿
南鳥居

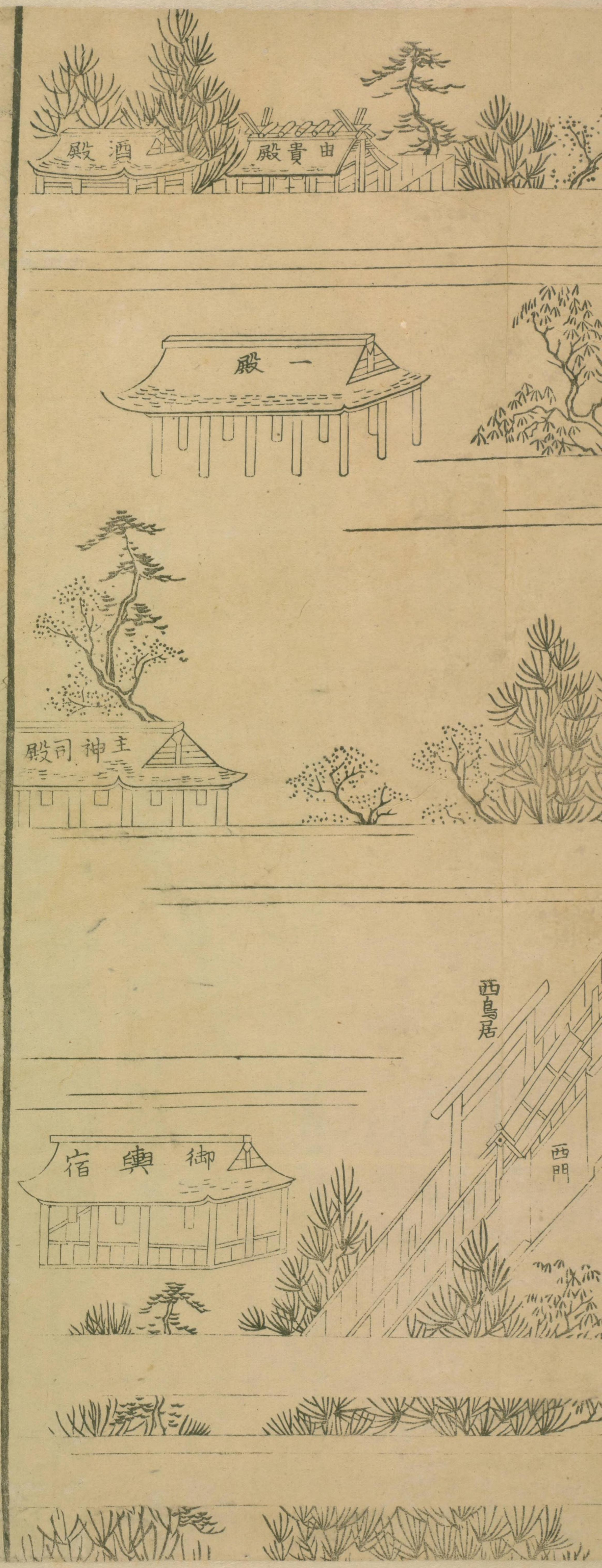


御本宮御圖

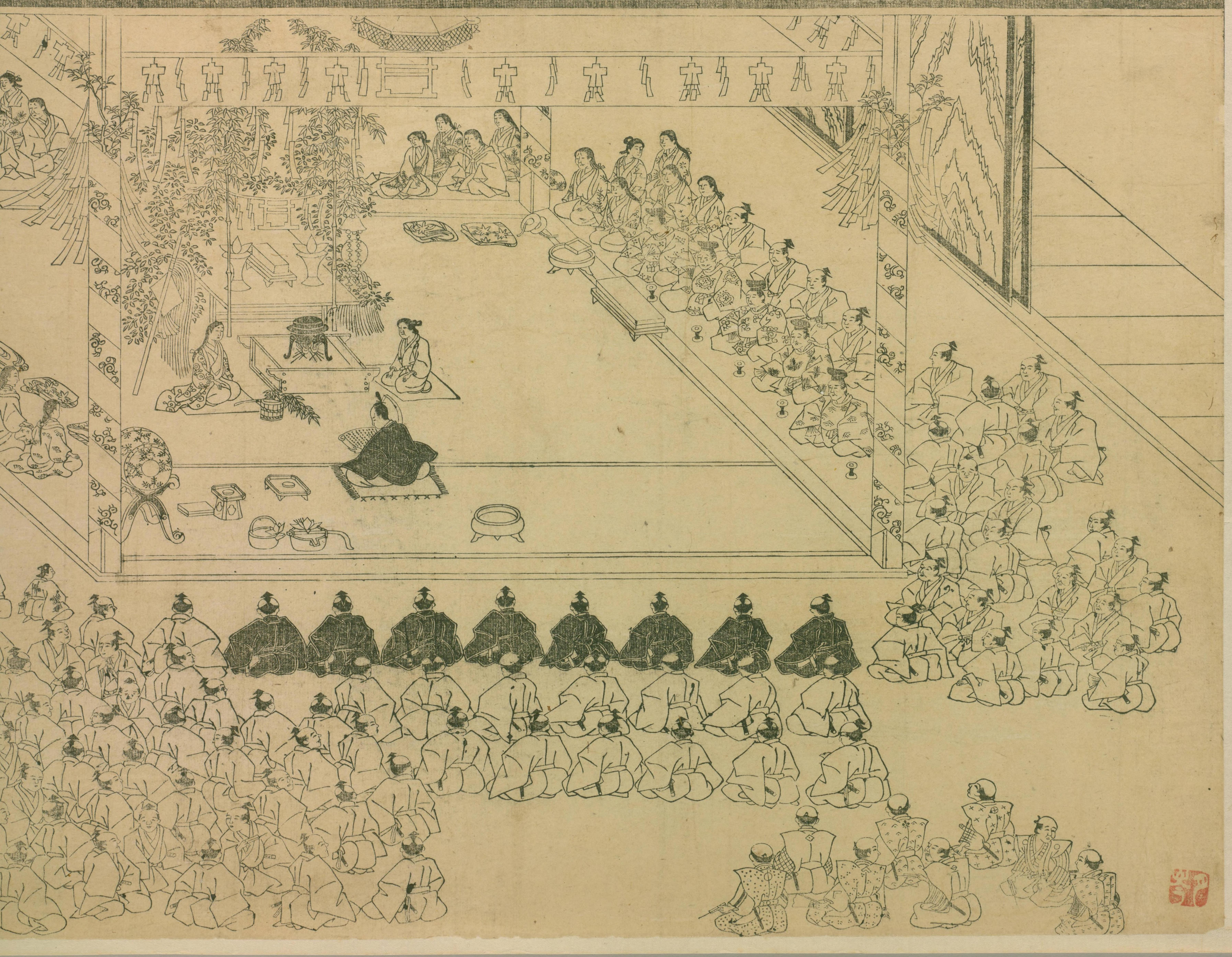
天照皇大神の大宮造り替りけれハ
もしめハ人皇十一代
垂仁天皇の大御代ニ倭姫の命大宮
所を伊勢乃国宇治の五十鈴の川上ニ
移座し奉りぬ内宮是なり
天武天皇大御代に二十ヶ年を造替遷
宮の式年と定めまし一ヶ年御年人ニ奉
知れる所なり然されバ来ル丑の秋九
月ニハ　御遷宮の式ありて月に当利
依れ之但此例御塵共まし猶ら家門
繁久息災延命諸願成就の御祈禱
致各御信心の御参詣有之候也

文政十一戊子年九月

右ハ当年御遷宮ニ付御祈禱執行
仕候一万度御祓大麻を指奉り
奉頒布致し度候ニ付御参詣被成候



伊勢大ゝ御神楽圖

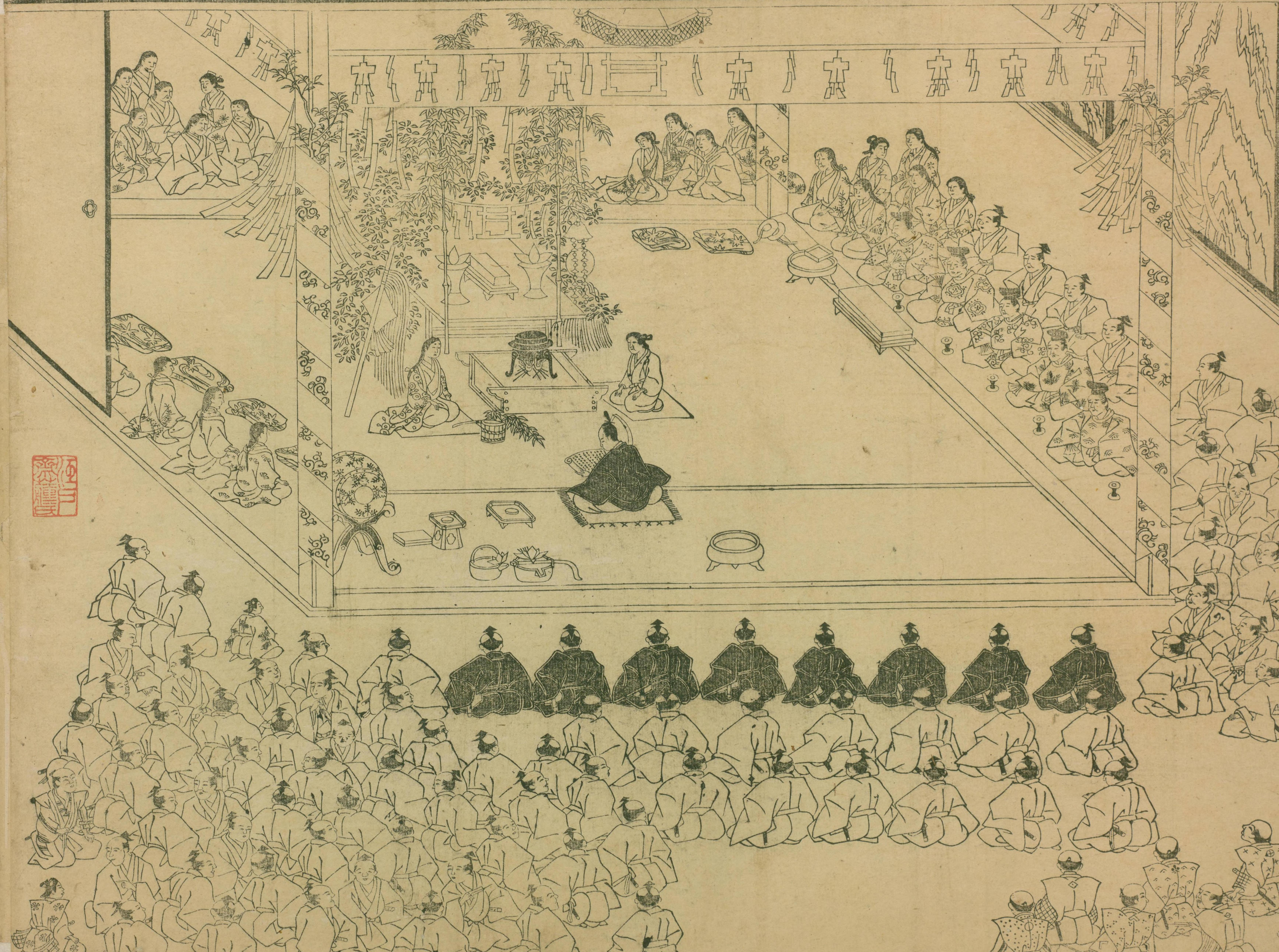


常久息災延壽諸願成就の御祈禱仕
候各御信心の御清晴専要候也

文政十一戊子年九月

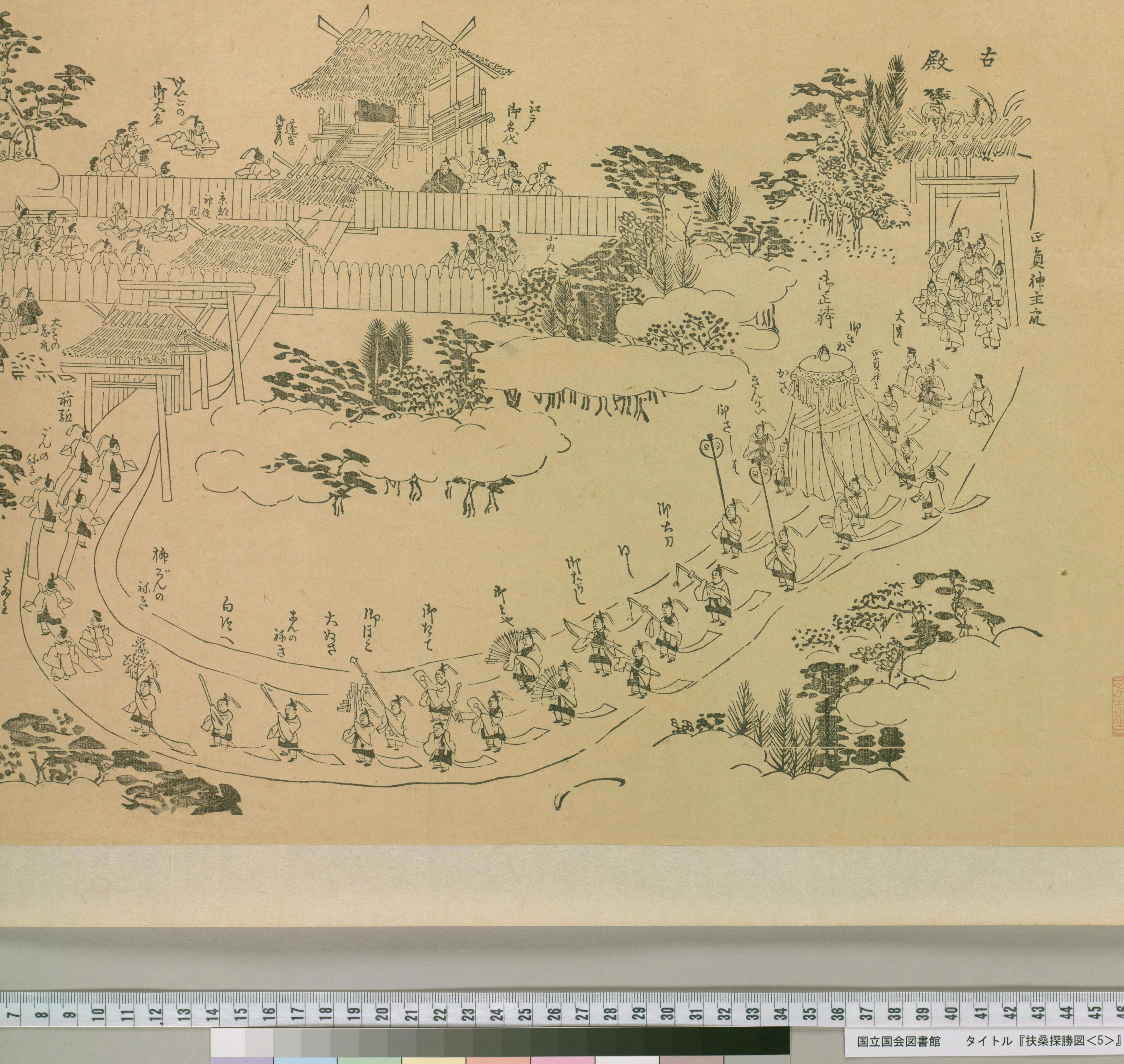
右来丑年御遷宮ニ付為御祈禱執行
仕一万度御祓大麻を指上ケ申候
重而[illegible]寸志御清納[illegible]也

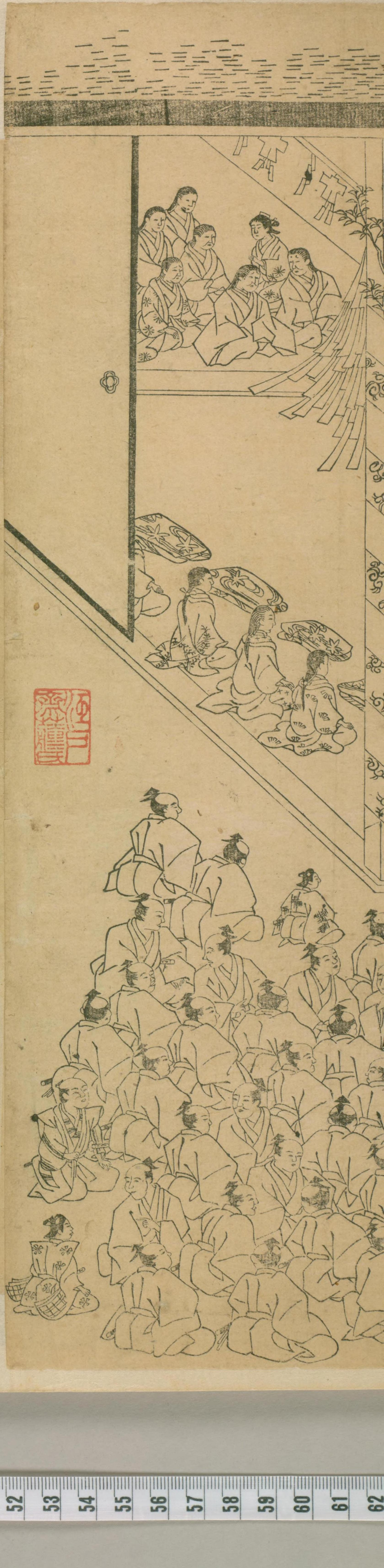
伊勢大〻御神樂圖



太神宮正遷宮大略圖

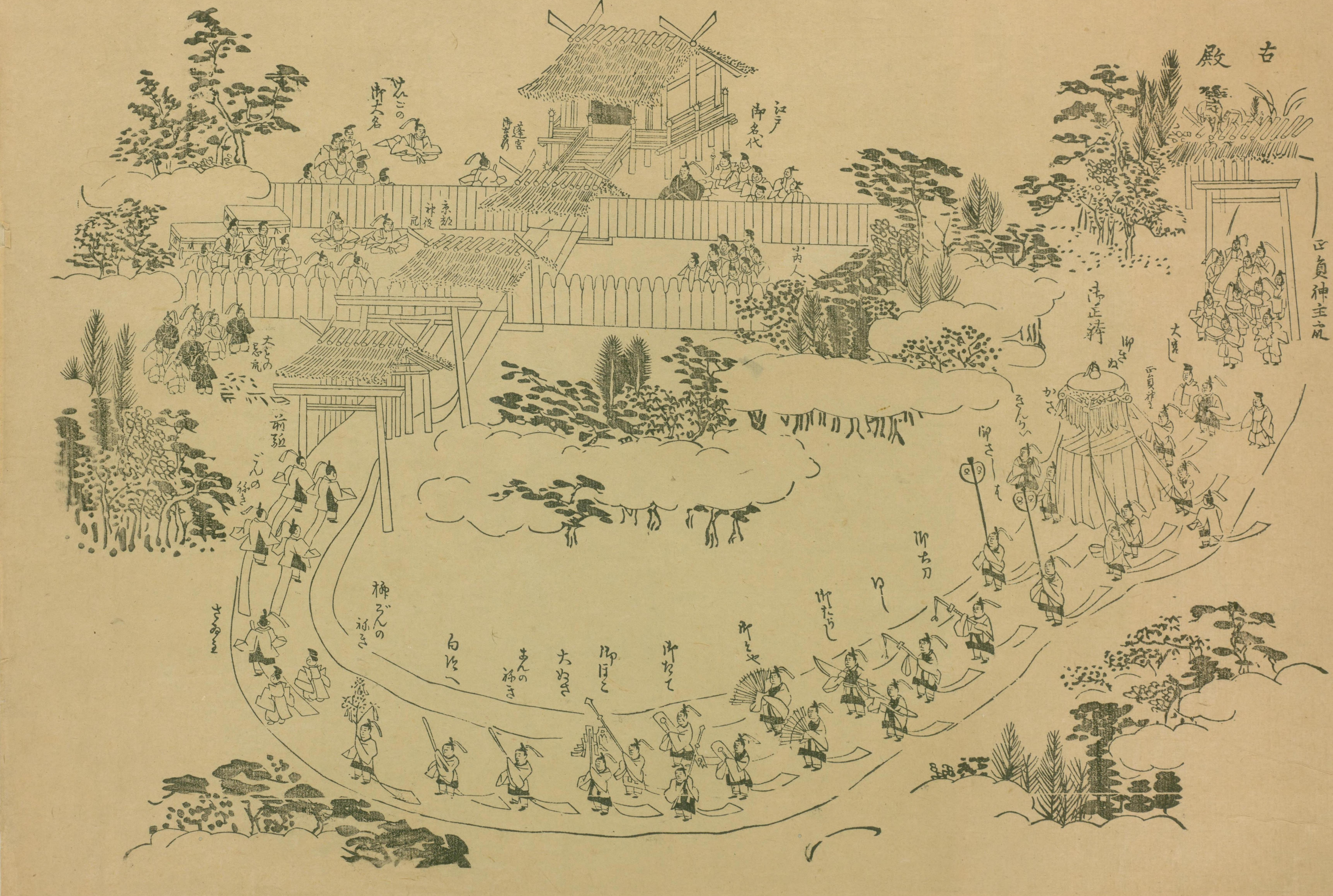
太神宮正遷宮大略圖


古殿
正員神主衆
大宮し
正員神主
御正躰
御きぬ
かさ
きんらい
御さしは
御太刀
ゆし
御たらし
御そや
御たて
御ほこ
大ぬさ
あんの祢き
白杖
柳ぞんの祢き
前駈
ごんの祢き
大ともの忌衆
京都神役衆
小内人
江戸御名代
逢宮
せんごの御大名



伊勢二見浦畧繪圖

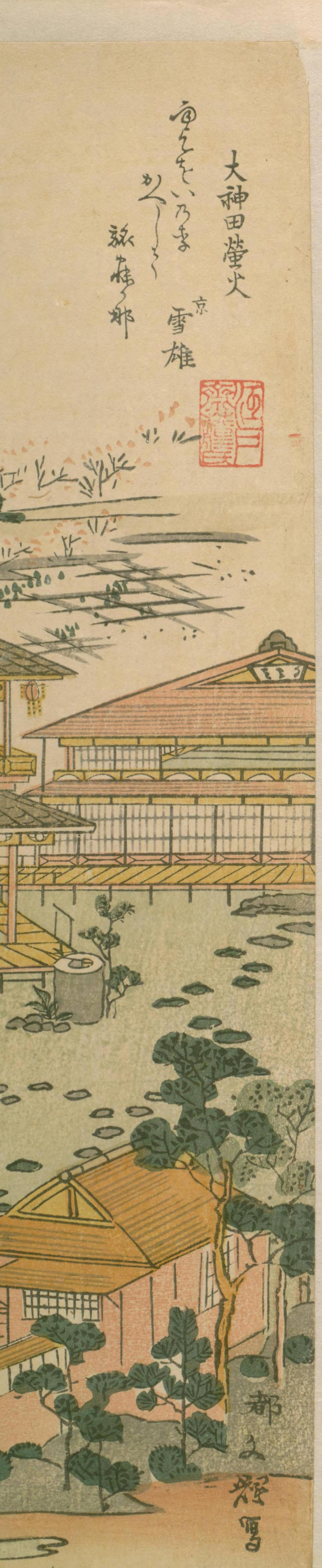
勢州山田一志町
藤原長兵衛板行


古殿
正員神主家
大宮し
正員神主
御きぬ
御かさ
さんらい
御さしは
御太刀
ゆみ
御たらし
御ほや
御たて
御ほこ
大ぬさ
まんの祢き
白丁
神ぞんの祢き
さるた
前駈
ごんの祢き
大うちの家司
京都神役人
小内人
江戸御名代
蓬宮御名代
びんごの御大名

大神田螢火

宵々をいろ乃季
かくしらく
蛍森乃那

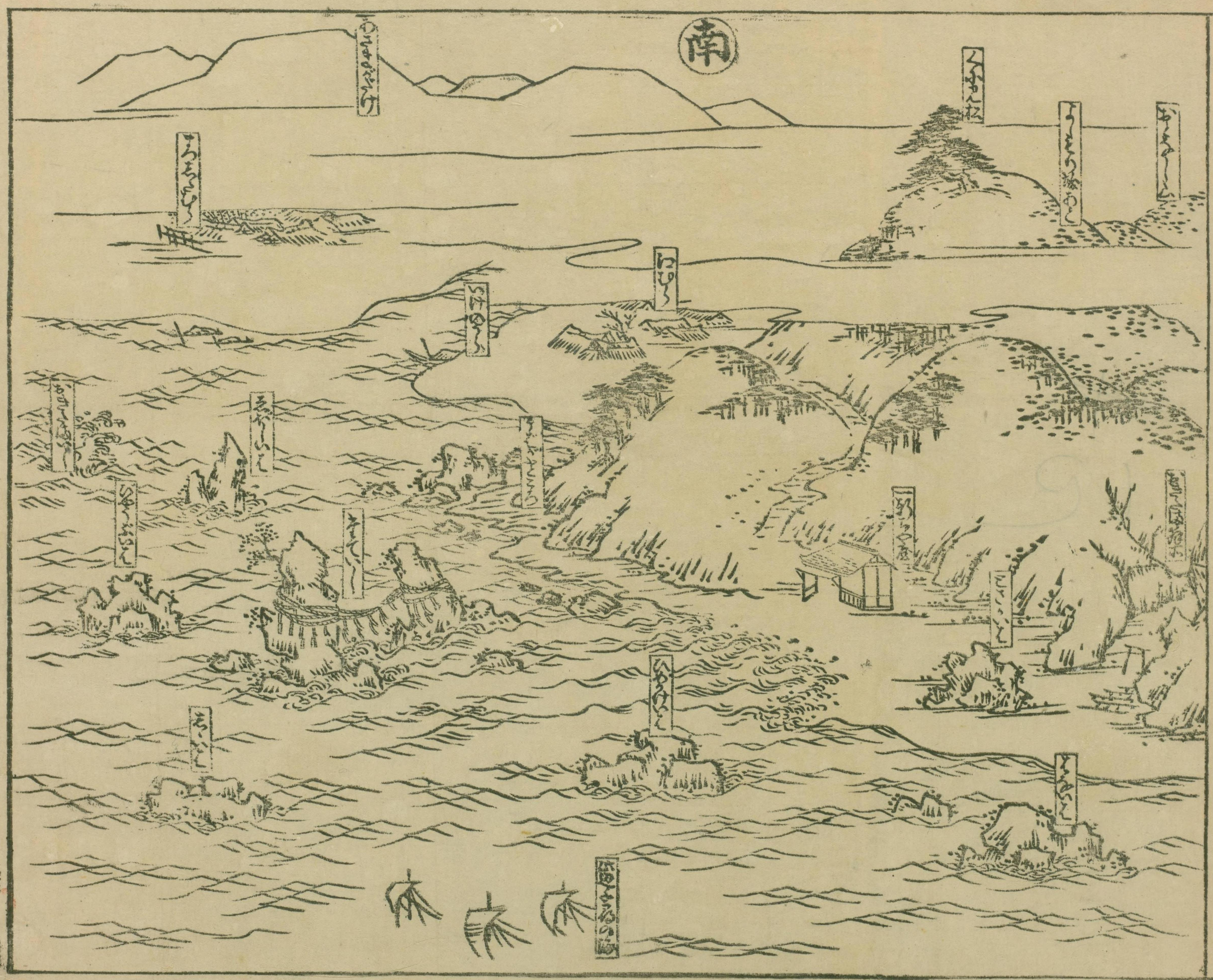
京 雪雄

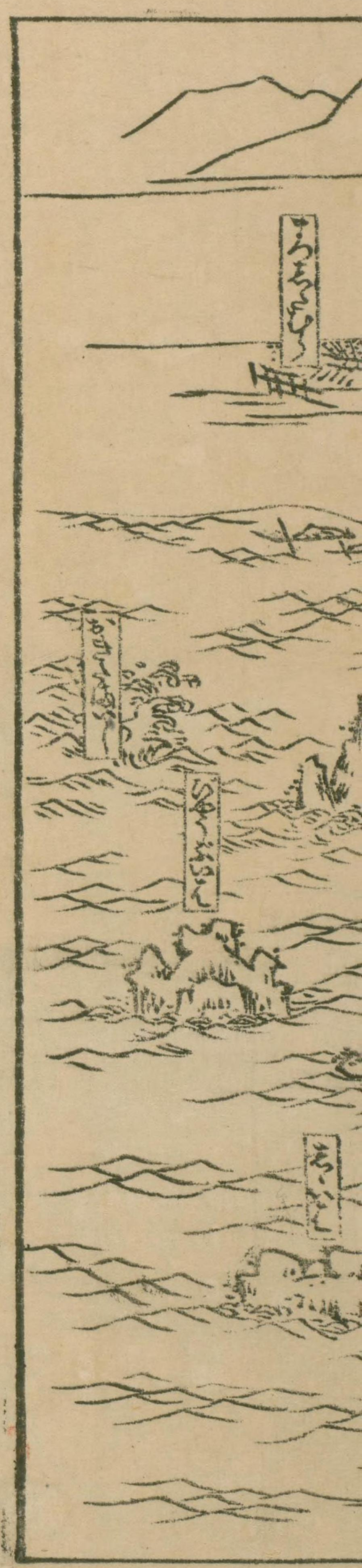


此外の名所くハしき大絵図あり
外ニ両宮殿舎の御絵図摂社末社の図并田丸図
大神宮末社図ニ末々海内記等数々有

伊勢二見浦畧繪圖

勢州山田一志町
藤原長兵衛板行


南
あさまがだけ
たていし



此外の名所くハしき大絵図あり
外ニ両宮殿舎の御繪図攝社末社の図御田祭図
太〻神楽図朱文海内記等多く有

大神田螢火
螢火をいろ手 かゝしつゝ 旅寝哉
京 雪雄

宮川堤櫻花
古郷やおもふ餅も [illegible]
江戸 蕉雨

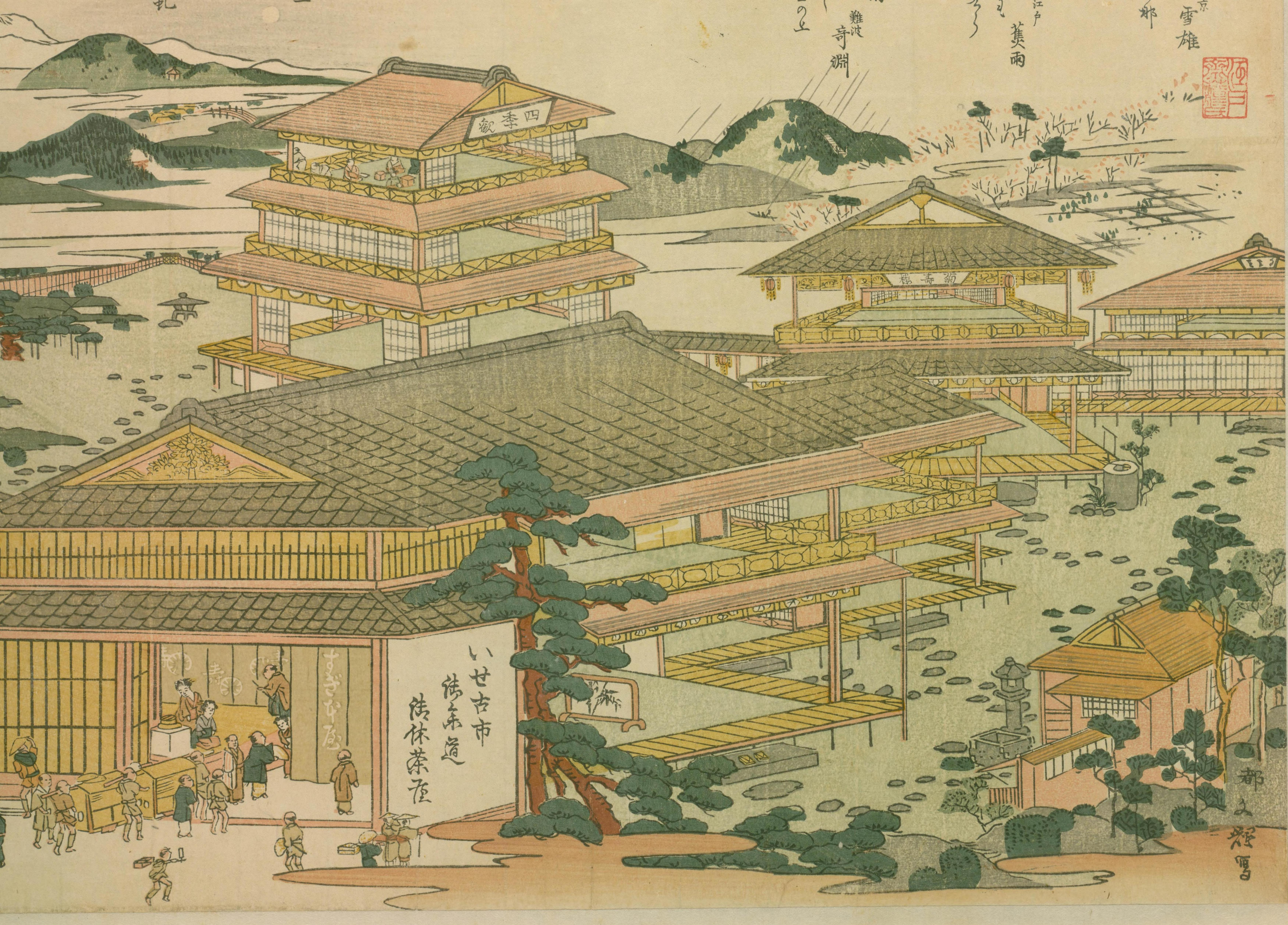
岩戸山時雨
おもしろの しくれ氣し 笠の上
難波 奇淵

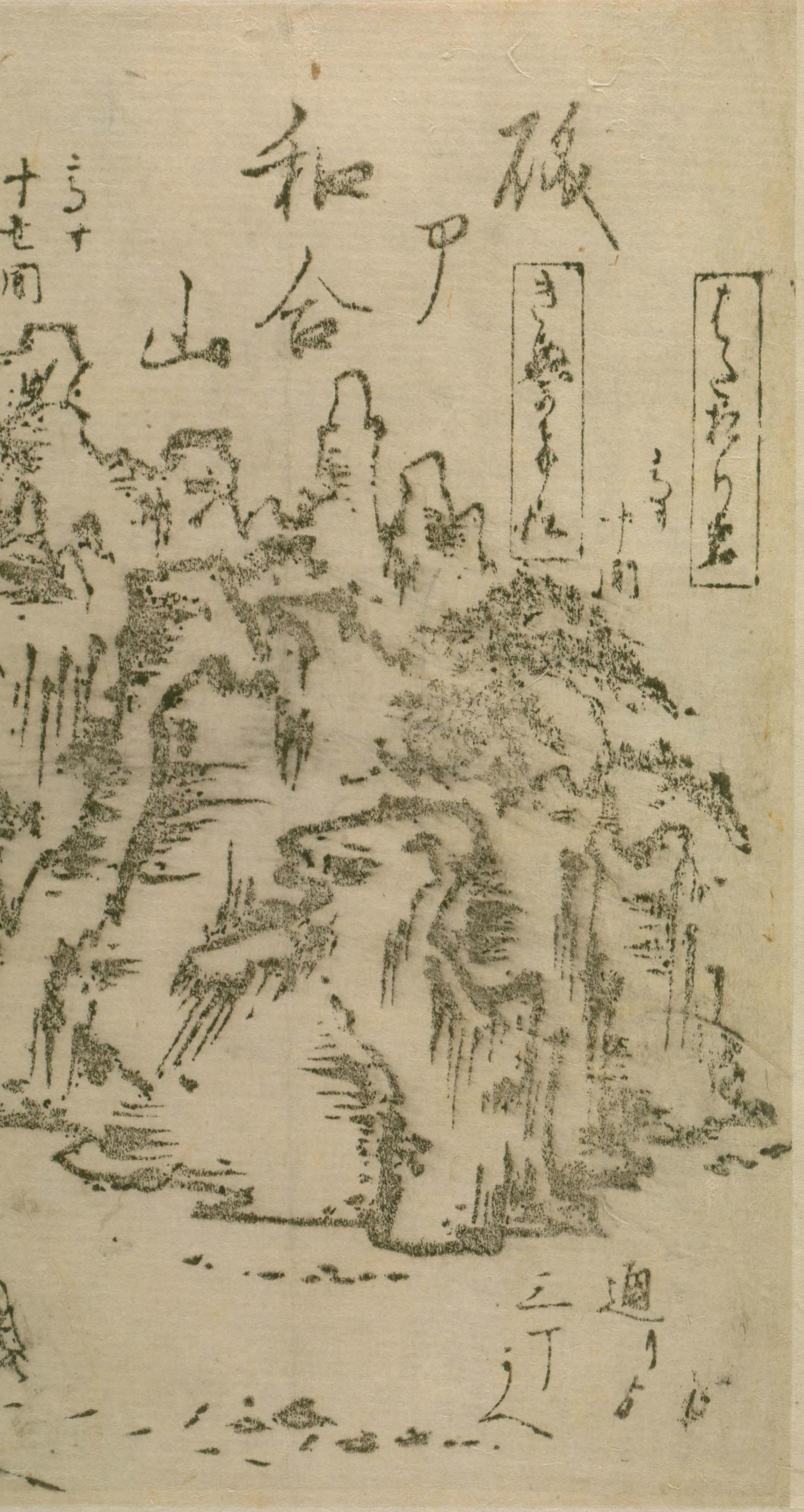
神路山郭公
[illegible]を 聲乃うちなり [illegible]
伊勢 檉堂

五十鈴川月
名月を きよし流月の 手洗ひ哉
仙臺 乙二

西行谷鹿鳴
夕ぐれは なくへき萩の聲
京 蒼虬

朝熊岳曙雪
晴天を [illegible]
尾張 士朗




磯部
和合山
しくわう岩
こゝゟ十町
[illegible]
こゝゟ十七町
廻りらば
三丁え

岩つゝさかり

岩戸山時雨
わかくのしくれ気し
皇の上
難波 奇淵

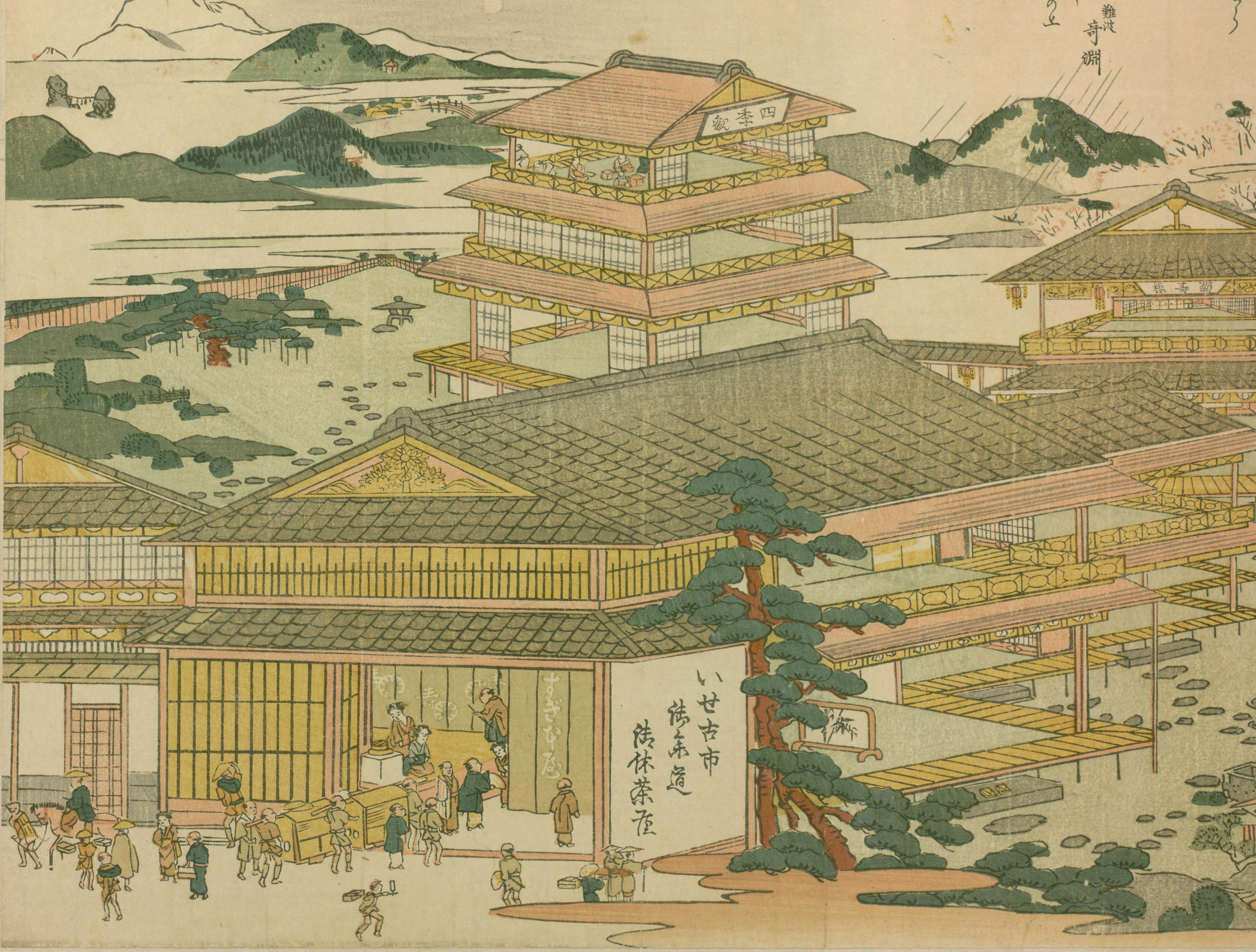
神路山郭公
こゑを
契乃うちなり
ほとゝきす
伊豫 樗堂

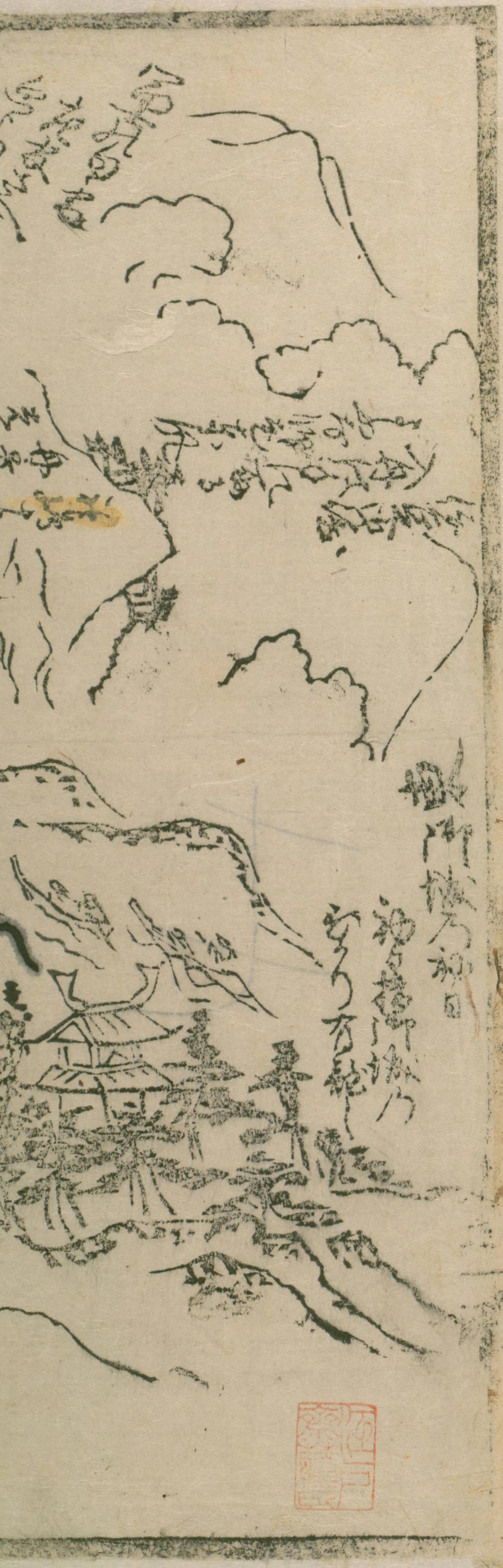
五十鈴川月
名月も
きよし九月の
手洗ひ水
仙臺 乙二

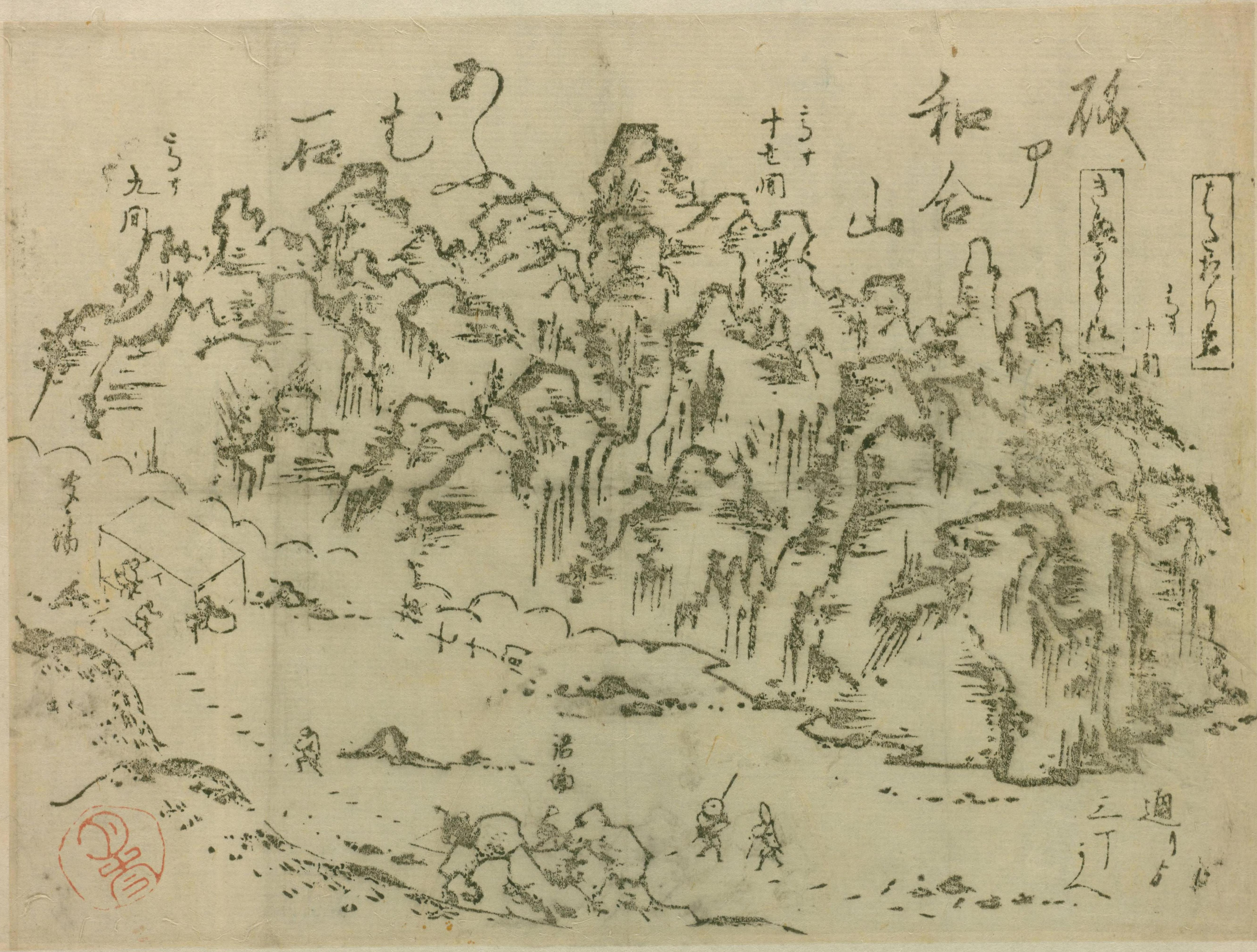
西行谷鹿鳴
夕くれは
なくや萩乃声
京 蒼虬

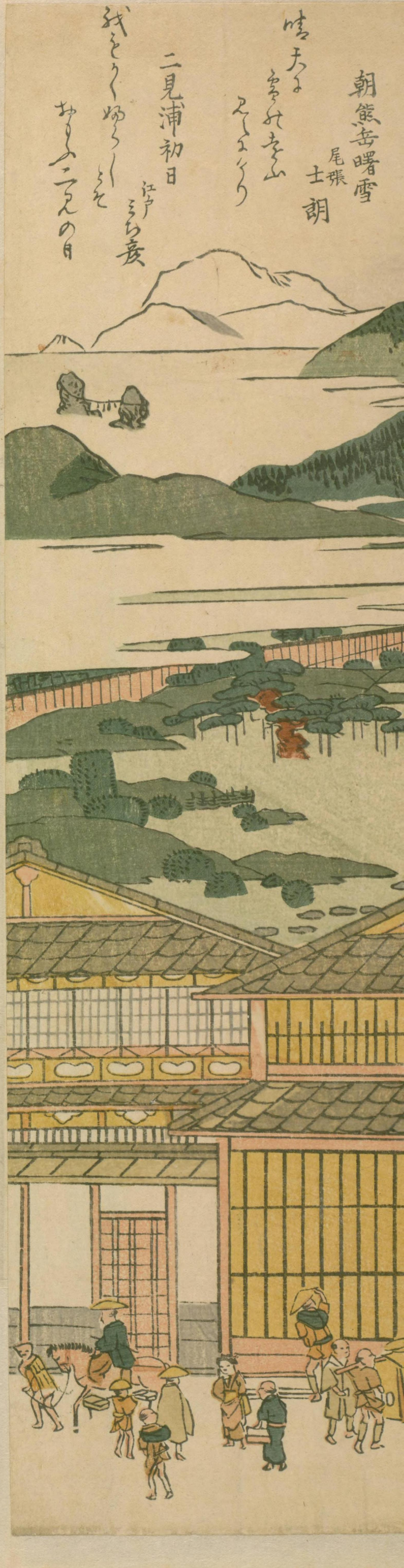
朝熊岳曙雪
晴天や
雪は青山
見まもり
尾張 士朗

二見浦初日
我をとく
帰らしとそ
おほみ二見の日
江戸 みち彦

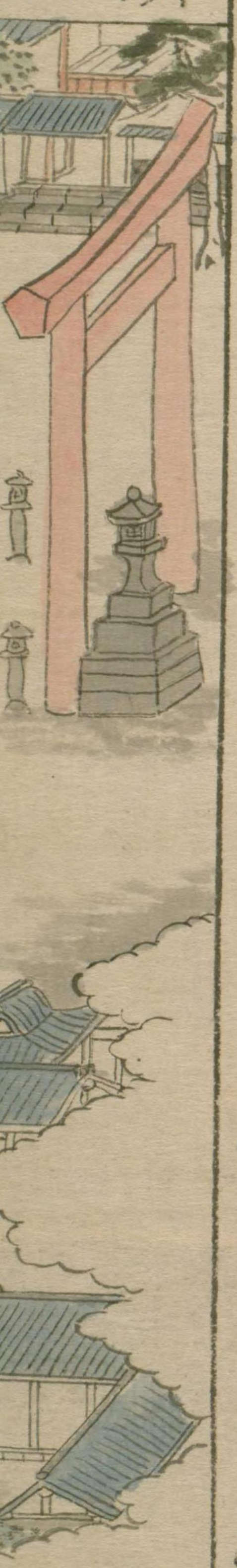

四季歓
菊寿楼
すぎ本屋
いせ古市
御参道
御休茶屋




礒戸和合山
わむ石
こうす 十七間
こうす 九間
こうす 十間
三丁


朝熊岳曙雪
尾張 士朗
二見浦初日
江戸

日本總社津島牛頭天王瑞籬内外之畧



司

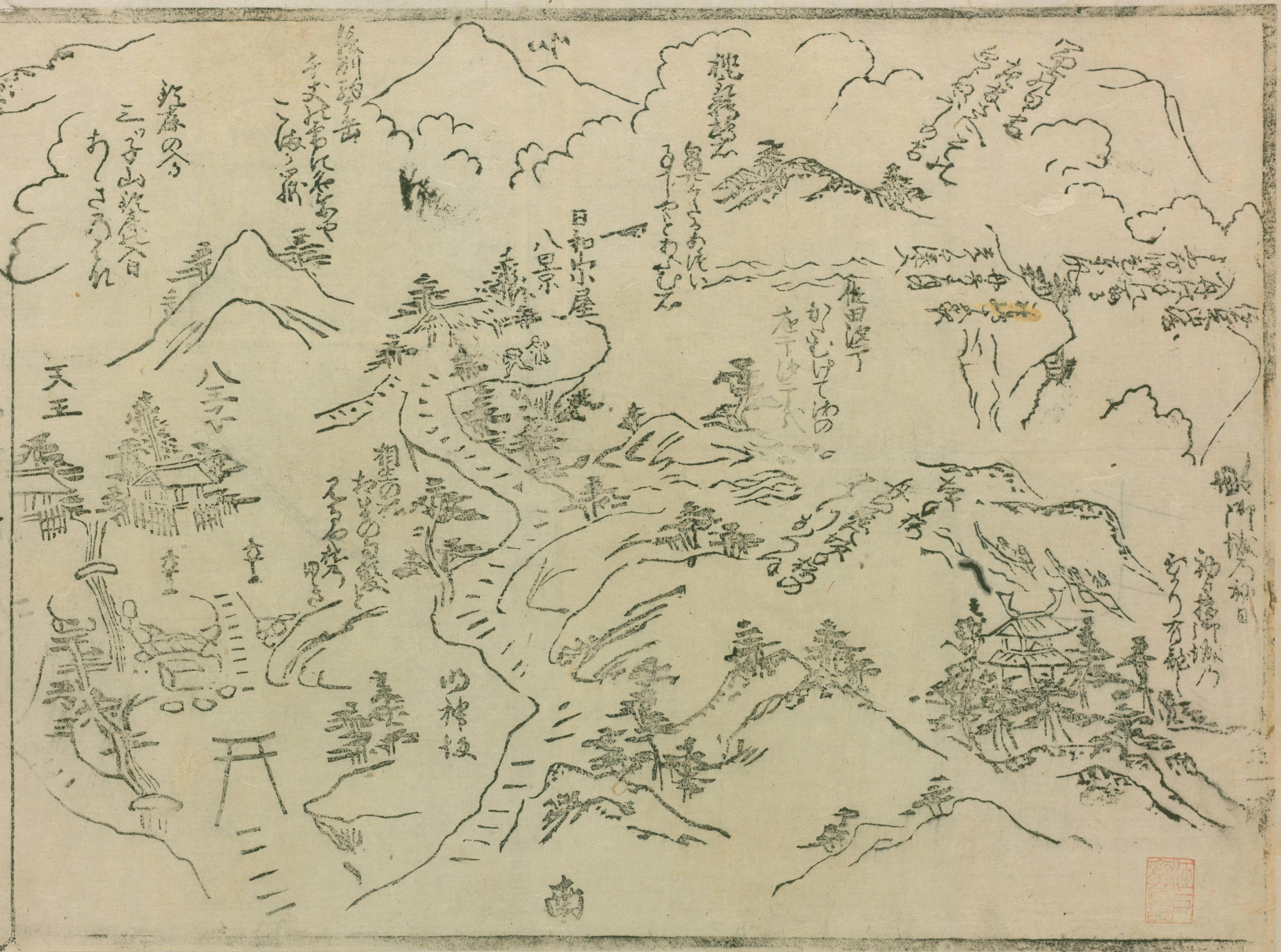
稲荷様御祈祷
御取次仕候

商人宿

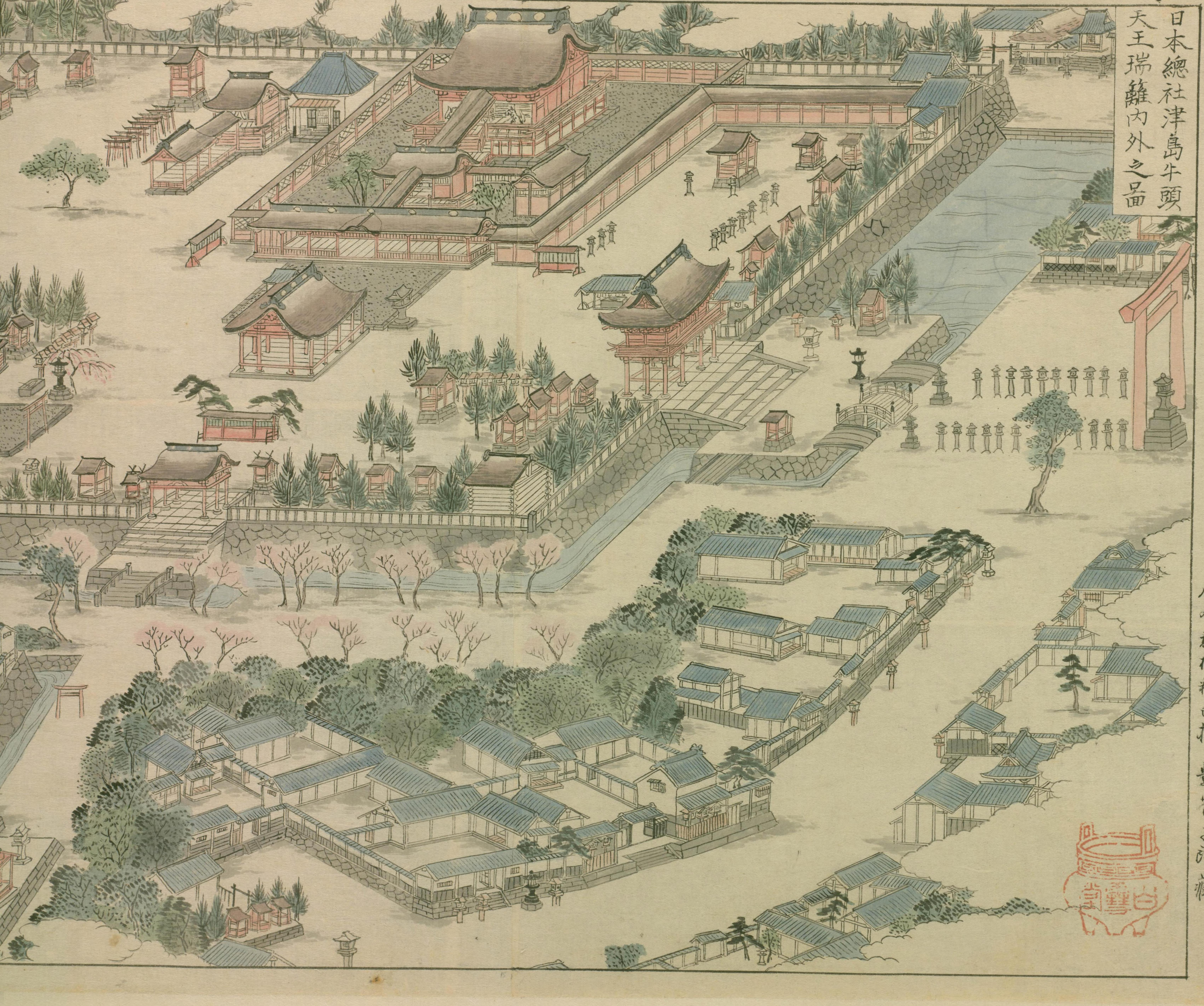
志州鳥羽本町

白銀屋利八と
申者で御座候

并ニ
御参宮人様御一見ニ浦港ニ御一見ニ御座候
[illegible]


天王
八王子
日和山
八景
御神坂
鳥羽御城
南

原本利休粉色摺　豊芹子所蔵



日本總社津島牛頭
天王瑞籬内外之圖

原本刹板粉色摺　豊芹子所藏

可

稲荷様御詠歌（[illegible]）　志州鳥羽本町

商人衍

白銀屋利八と

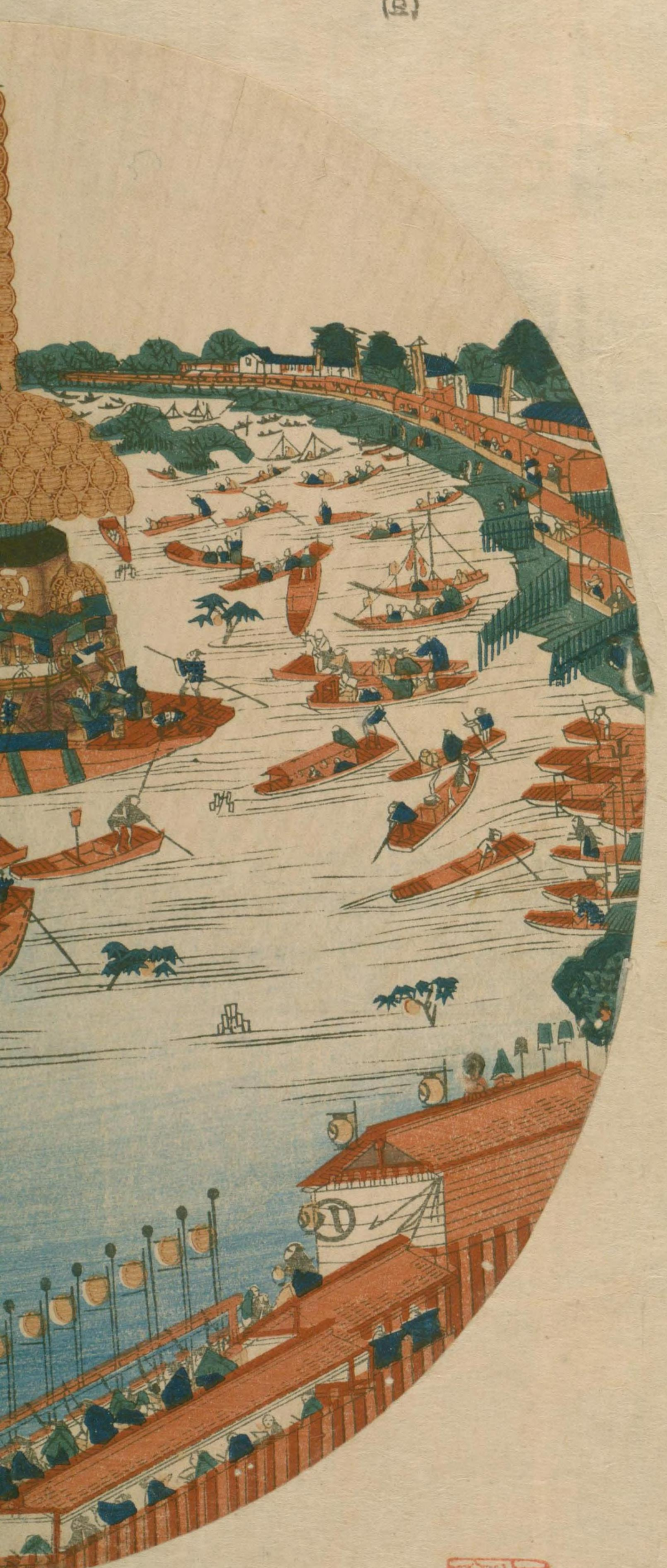
御尋可被下候

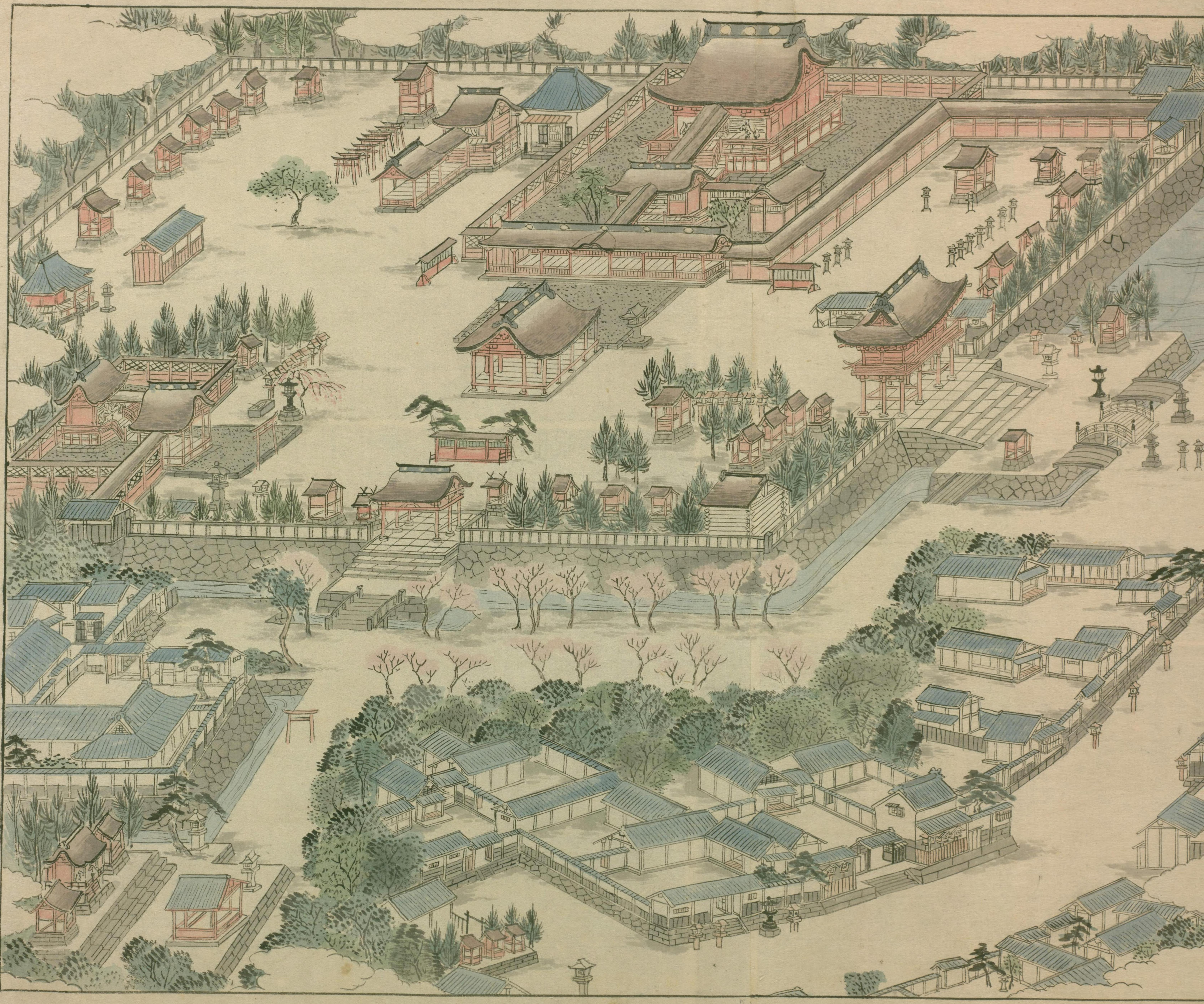
御薬之

御条官人被総三頁之浦済之御一見之之御方

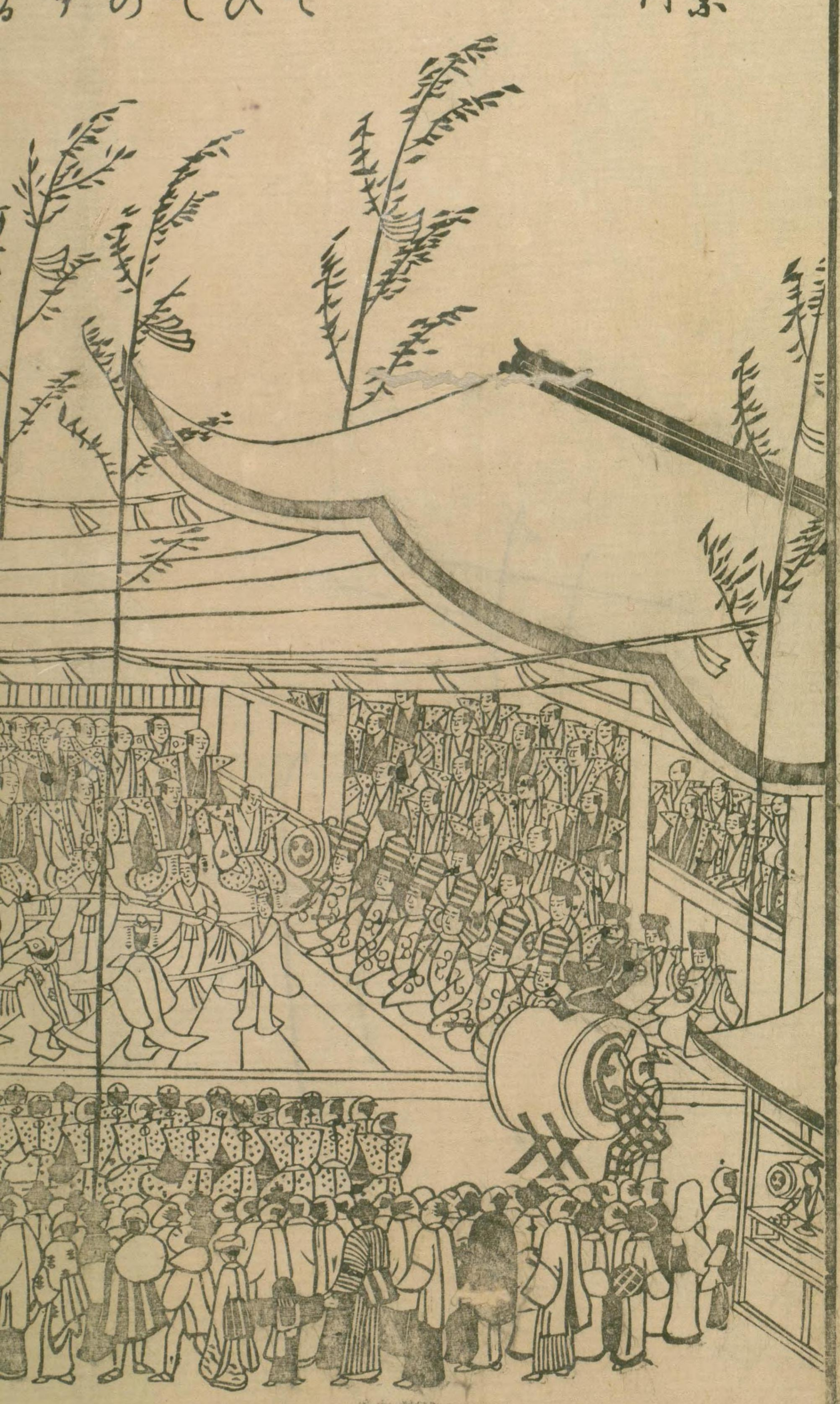
[illegible]

津島祭の圖

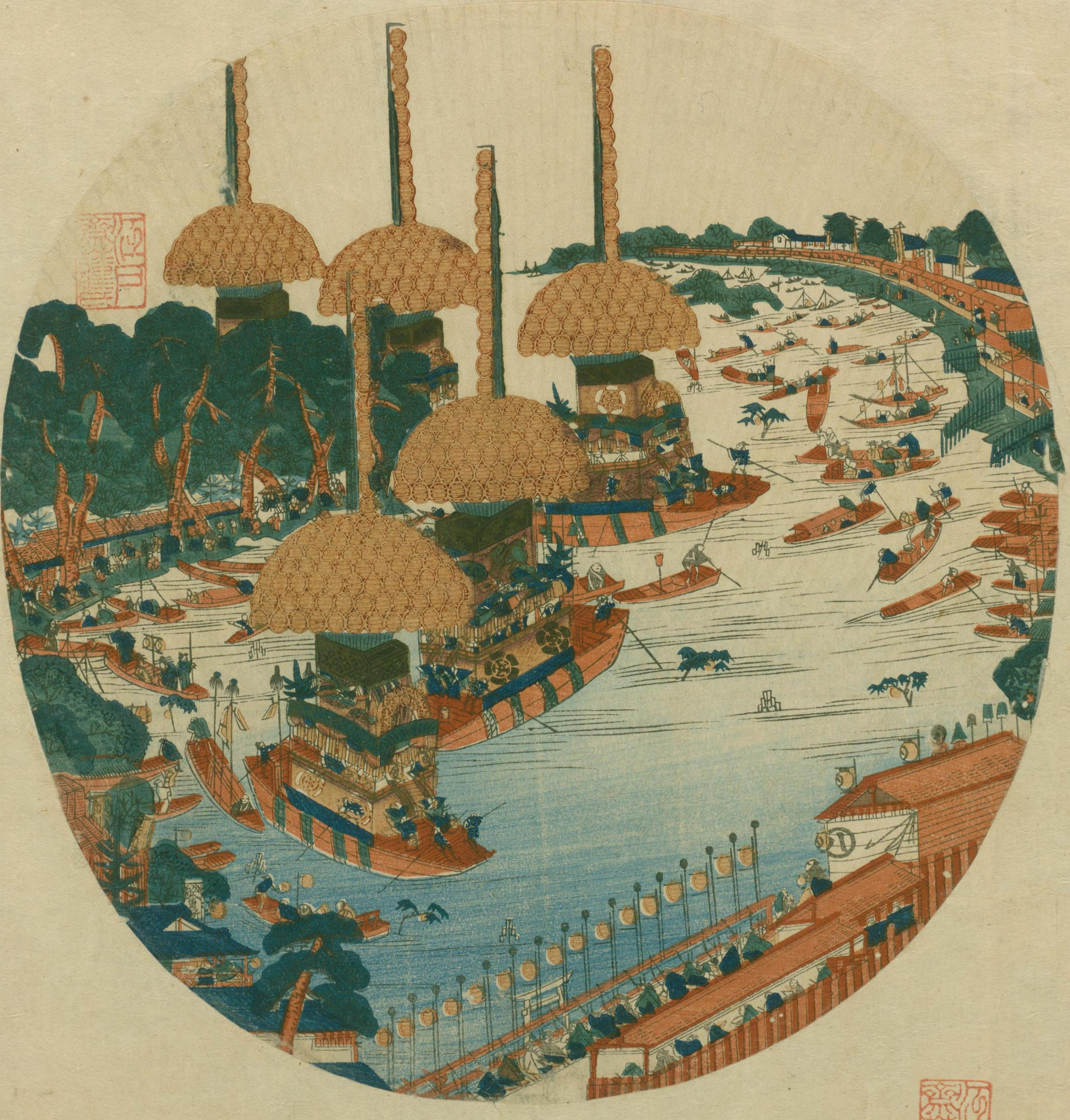


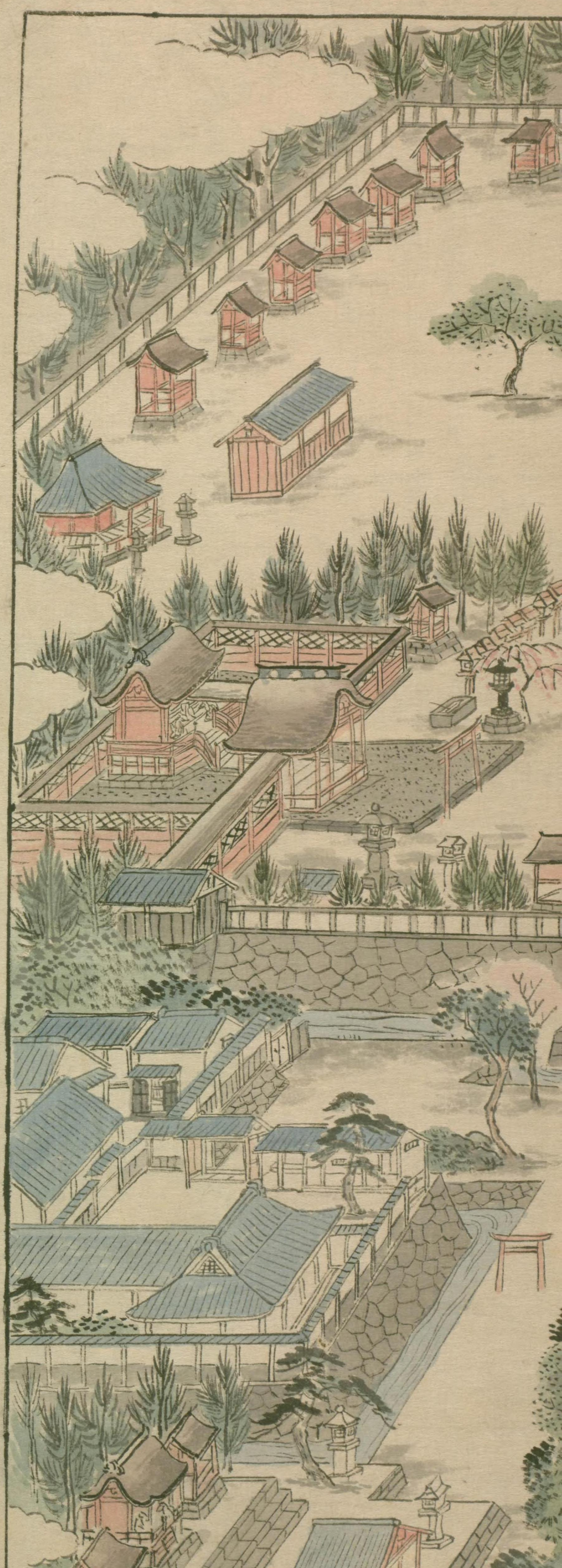


太々神楽のはじめハむかし神代に素
盞嗚尊のあらひによりて天照大御
神天岩戸をたてゝさしこもりましま
しゝかバ世の中常闇になりて昼
夜のわかちもなかりけれハ八百萬
神等うれひて共に議りたまひて
かの岩屋戸の前にて神楽をなしたまひ
けるに天照大御神いたくめでたまひて
その岩屋戸を出給ひけるハ是を始として
それよりかくやおもしろき大御神もめでて
まひて上よりしもまでもなされハ今もその
古風をうつして神をいさむるわざと



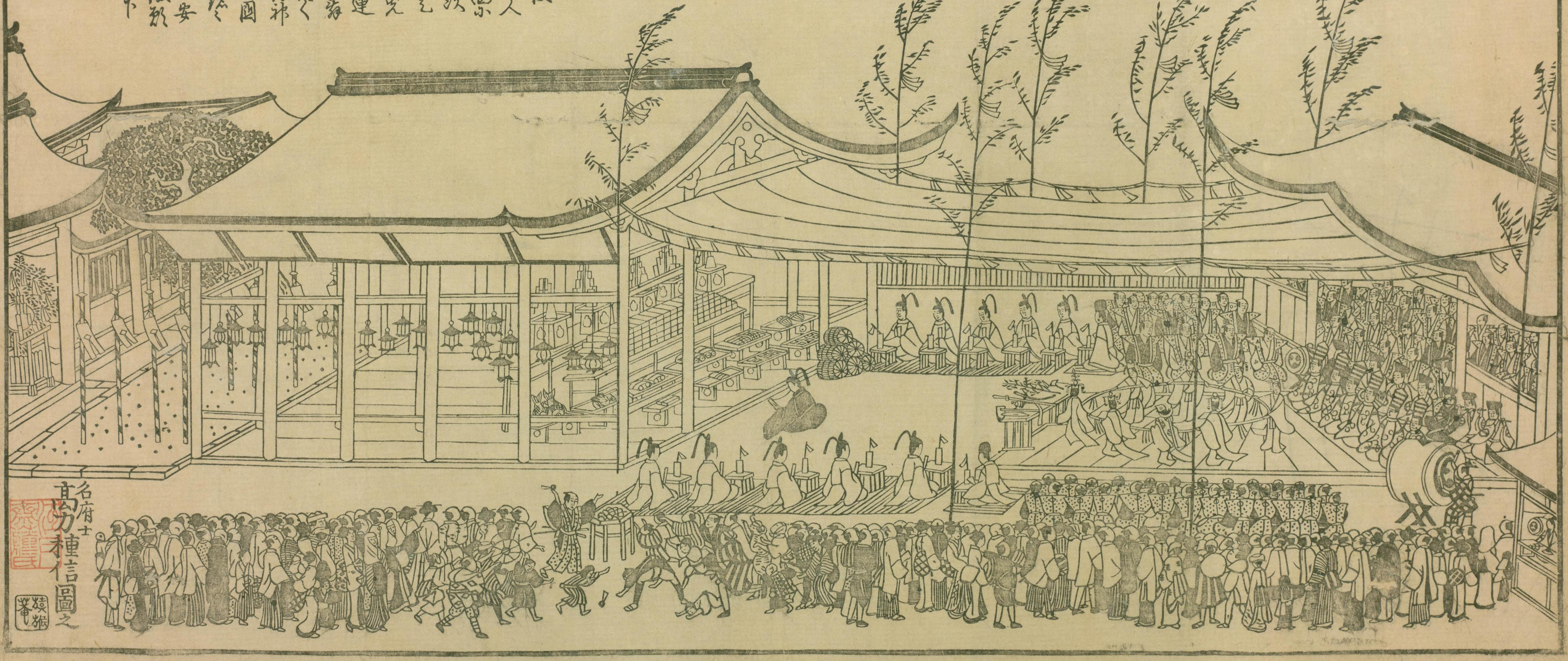
津島祭の図





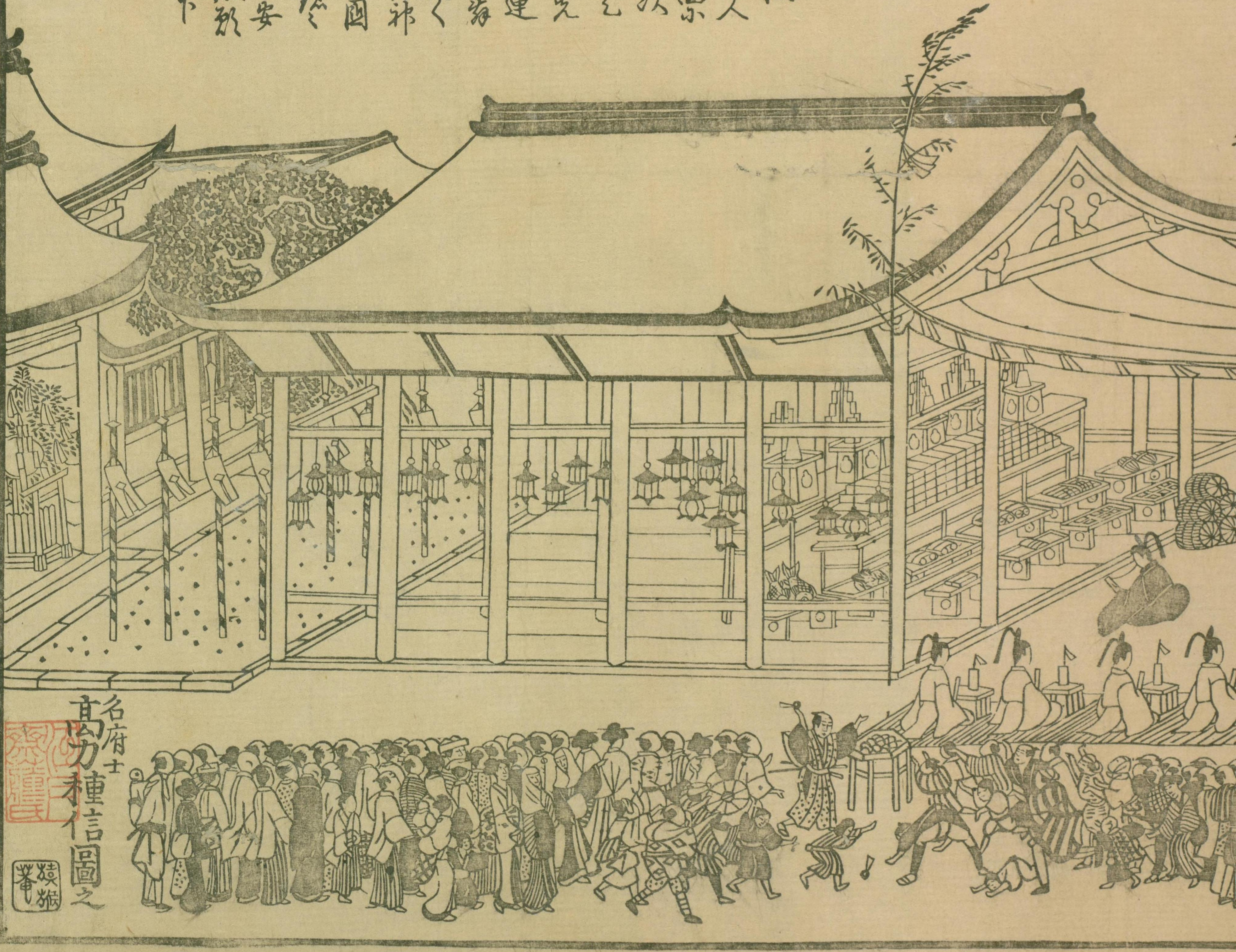
太々神楽ハそのはしめハむかし神代ニ素盞嗚尊あらきふるまひによりて天照大御神天岩屋戸をたてさしこもりましけれハ天地常闇になりて昼夜のわかちもなかりしかハ八百萬神等うれひたまひて共ニ議りたまひてかの岩屋戸のまへにて神楽をはしめたまひけるに天照大御神いふかしくおもほしてその岩屋戸を出給ひしかハ光をはなちたまひそのまゝやはらきしかハ大御神もゑみてまひて上る事をよろこひ給ふとなん今ニその古風をうつして神楽を奏する事なり此御の祈祷ハ天下八方の為に是より奉る祈祷ハ多く然て太々神楽たるゆゑなり

○熱田皇大神宮太々御神楽執行次第先当日拝殿勅使殿中庭に舞臺をもふけ四方にやらひをゆひ注連縄等を張渡し内外の文殿において天地岩戸鎮の式あり白洲ニハ許禰をまつ門内にて白酒附供御調進當（進物今朝美麗浅緒／舞楽奏楽執行之）次ニ號旦献分配の御後麻楽となし雲しもる為熱撿校權内人各黒袍衣冠よそひて内外の文殿より神拝殿にて中着禰宜所司内人祝師祝部数多拝殿大御前にて神拝右の禰宜等神前拝殿の廣前にハに袍面目講中安全祈念ありて神拝畢る次ニ退下なして御師權内人一人黒袍衣冠次所司内人御師十人白張着にて出仕宮直禰宜へ一礼ありて内外の文殿神拝畢て西廻廊舞屋次祝師御師出仕次神巫神子座神楽所へ出仕なくて已に附斗に成あれハ為使合の相大皷打とよめかせハ西廻廊御師權内人付添者中庭左右へ舞座ハ權内人中座正面に舞座次ニ神巫神子座舞臺へ三列に舞座次郡も着勅使殿はしめ舞臺左右へ舞座座定て先權内人役御祝詞すて韓神舞大和舞御先拂御師方舞浅次ニ神巫神子末縁四手舞連舞矛舞ひうけ舞繁栄舞二人浄行舞火處舞二人郡已前浅の舞八人分ありれ舞あそひ終くれ舞細月の舞おもしろれ舞志免縄の舞神よ三笑次ニ御師奉幣次祝詞天下泰平國家安穏五穀生熟各々御神楽講中緣々家運長久諸願成就商賣繁栄船中安全大漁満足祈念ありて次ニ御神酒撤部と方行ありて古法のまゝ戴手て各退下



名府士
高力種信圖之
猿猴菴

検按権内人各黒袍衣冠よそひて
内宮ゟ文殿ニて神拝済て中為祭至
所司内人祝者税等数多捧殿大御前
ニて神拝右の祭文等山田挑灯の席ニ六
ニ袍ニ而目講中安全祈念終りニて神
拝并祭文読く退下終りて桃灯御師
権内人一人黒袍衣冠次所司内人御師
十人各冠指ニて出仕宮直祭至へ一礼
次ニて内宮ゟ文殿神拝了て西回廊へ
着座次祝御師出仕次神巫神子座
神楽所へ出仕ありて已に附斗ニ及おれハ為使
合ニ而大皷打とよめき世ハ西回廊御師権内人
はしめ各中庭左右へ着座只権内人中座正面ニ
着座次小神巫神子座舞台へ三列ニ着座次
終りて各勤使殿けふ舞楽左右へ着座定
て先権内人僕御祝詞并て韓神舞大和舞御先
呼御師方前残次小神巫神楽未終四手舞連
舞弓舞ひらけ舞變文舞二人陸行舞火處舞
二人終りて前残ある舞八人かりてれ舞志雅く
れ舞細目の舞おもしろれ舞志免縄の舞神
主三笑次小御師奉幣次祝詞天下泰平國
家安穏五穀生熟夫々御神楽講中諸く
家運長久諸願成就商賣繁栄船中安
全大漁満足祈念ありて次小御神酒撤終
り方行ありへ本殿へ頂戴并て各退下



名府士
高力種信圖之

い